

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	8～9	屋根での積もった雪を竹箒で雪を落とす作業中、場所を移動するため安全帯を外したとき、一緒に作業をしていた同僚が足を滑らせ滑落しそうになったため、助けようと手を貸したところ、屋根の勾配で滑り、約4.3m下の圧雪状態の地面に同僚と一緒に背部から落下して負傷した	40	415	1	—
2017	1	12～13	浴場改修工事の内部足場解体中に化粧梁に足をかけ、安全帯を入れ替えしようとしたところ、化粧梁の仕口が外れ落下した。	24	415	1	1～9
2017	1	13～14	1階天井の配管作業中に、ローリングタワーにて昇降時に足を踏み外し、1m下の1階スラブ上に足から落下し、右踵に右腓骨骨折を負った。	52	411	1	1～9
2017	1	11～12	1階地中梁コンクリートの上で、ピット内の角材をロープで引き上げ作業をするとき、親綱の準備中につまずき、反対側のピットの下にうしろ向きに転落し、その際に尻を打ち、左手をついたため左手首を骨折した。	66	418	1	1～9
2017	1	17～18	新築中の住宅内部で当日の作業が終わり、不用ダンボール紙を抱えて内部階段を下りる途中、足元が良く見えなかったため階段を踏み外して転倒し、中段の踊場に身体の左側を強打し負傷した。	66	413	2	1～9
2017	1	15～16	取り引き先の倉庫にて、アルミ板片付け作業中、足場用アルミ板に左手人差し指を挟んでケガをした。	21	521	6	1～9

2017	1	16~ 17	養鶏場の鶏舎新築工事現場において、鶏舎の屋根の梁上に仮置きしていた角材（鋼製100×100）を移動させようと、高所作業車を運転し、屋根の梁の上にあがったところ、仮置き角材に足を掛けたため、角材が横すべり、バランスを崩して転落し、約6.4m下のコンクリート床に激突し負傷した。なお、保護帽・ハーネス式安全帯を着用していたが、安全帯は使用しておらず、安全帯取付箇所・防網等は設けていない。	22	415	1	—
2017	1	16~ 17	防水工事を行うためルーフバルコニーに設置していた組立式の梯子（15段）を解体しようとしたところ、体勢を崩し、梯子から手が離れ、3メートル下の丸型植木鉢にはまり込むように落下し、右足踵部分を強打した。	57	371	1	10 ~ 29
2017	1	13~ 14	分譲マンション新築工事現場地下にて、16t移動式クレーンを使用して材料を間配り作業中、作業者が資材からワイヤーを除けようとして手を払った際、クレーンオペレーターが巻き上げの合図と誤認してしまい、ワイヤーを巻き上げた。結果、吊具が山留鋼材に引っ掛かり、2段に積んだ山留鋼材がバランスを崩し、被災者の右足脛に落下し負傷した。	51	212	5	1~ 9
2017	1	9~ 10	2~4階水平ネット撤去作業中、両手に丸めた水平ネットを持って階段を下りている最中に持っていたネットが手摺に引っかかったのに気付かず降りたため、ネットが引っ張られバランスを崩し、1階から3段目辺りから1F床へ転倒し、左ひざを床コンクリートに強打し被災した。	43	413	1	—
2017	1	13~ 14	外装メンテナンス工事現場にて、仮設足場の解体作業中、4段目の足場から3段目の足場へ建地を使って降りようとした際、約7mの高さから転落した。	65	411	1	—
2017	1	11~ 12	店舗新築工事に於いて、既存構造物の解体工事中に大型0.7?バックホーに装着していたアタッチメントの油圧ブレーカーから大割破砕機に取り替えのため、接続用ピンを銅棒にて打撃挿入した際、挿入	44	142	4	1~ 9

			部に付着していた鉄片が打撃の反動で目に飛散して負傷した。				
2017	1	18～ 19	体育館改築工事において、2Fトイレ内にて、ボード工が立馬（H＝1.77）の感知バーを片面外して作業していたが、2層目のボード（14.1kg）を貼る際にボードが滑り、バランスを崩して壁と立馬の間に墜落し、左手を被災した。	47	411	1	—
2017	1	11～ 12	作業所内に於いて、西面隣地擁壁ブロック解体ガラを、大型チリ取りを使用して、解体がらを小運搬中に、廊下スラブの鉄筋クズに躓き、前に転倒して、左膝を地面（スラブ）に打ちつけた。	66	418	2	—
2017	1	8～9	作業（耐圧管配筋）場所のスパンの基礎梁（ビット内床面から基礎梁筋天端までの高さは1,920mm）を梯子にて3段くらい上ったところで、梯子の右側に偏って体重が掛かったため、左側フックが浮き上がり鉄筋から外れ、梯子が回転し梯子と共に回転しながら背中からビット底床面（土間コンクリート）に落ちた際に左踵と右肘を床面に打ちつけた。	35	371	1	10 ～ 29
2017	1	14～ 15	内装解体作業員が5名にて（手摺切断作業1名、手摺引立作業4名）共用廊下の手摺を一体として取り外すため、手摺両端を切断し（長さ56m、高さ0.95m、重さ約10kg）手摺を、共用廊下内部へ引き込むため、手摺の片側を3人で持ち上げて、被災者側の手摺端部を支点にして、回しながら足場パイプをかわして引き込もうとした。被災者の押さえていた側の手摺が、外側へずれそうになったので、止めようとし、手摺下枠と共用廊下の躯体外側角に左手薬指を挟み受傷した。	46	419	7	1～ 9
2017	1	15～ 16	コンクリートを打設中、バイブレーターを肩に担いで予備通路の足場上を移動中に足場板を踏みはずし、手摺りに掴まったので墜落はまぬがれたが、その際に腰をひねってしまった。	40	411	19	—
2017	1	11～ 12	現場内でプラスターボード貼りの作業の際、6尺の脚立足場3段目に昇りLGS地下にビスで貼っている時、ビスがなかなか入らず力を入れて押し込んだ時勢い余って前に倒れ頭から転落した。低い足場と	78	411	1	1～ 9

			の過信から注意を怠ったことによる災害だと思われる。				
2017	1	11～ 12	土場にてトラックに足場材を運んでいた際、材料と材料の間に右手小指が挟まり、圧迫されて、右手小指つめが剥がれ、骨にひびが入った。	23	521	7	—
2017	1	9～ 10	浴室改修工事エリアのパウダールームで、天井軽鉄下地組立中に、脚立の2段目（H=90cm位）に鋼製足場板2枚重ねで、設置（ゴムバンド結束）した足場から、約60cm横に設置した足場に移動しようとした時に、腰袋に掛けた溶接用ケーブルが何かに引っ掛かり、足を踏み外して転落し、床上の溶接用ホルダーに左下腿部を強打し被災した。	45	371	1	—
2017	1	10～ 11	内部足場を降りようとしている際、足場の踏板（幅40cm）に足をかけ損ない、手すりを掴めきれず3段目から1段目の足場踏板（幅80cm）に落下し（高さ約6m）、左肩甲骨を骨折し、左足太ももを打撲した。	28	411	1	—
2017	1	11～ 12	新築戸建て住宅の建築工事現場にて、2階にて壁用板材を丸のこぎりで切断し、その部材を運ぼうと後ろ向きに歩いた際、床面にユニットバス用の開口があったが、進行方向や状況を確認しなかった為、誤って開口部に足を踏み入れてしまい、2階から1階ガレージ部に転落し、頭部及び左半身を地面で強打した。	21	418	1	—
2017	1	10～ 11	新築工事において、碎石を敷きならす作業をしていた。碎石を積んだ2tダンプ後方の1段下がった所にて、2tダンプのアオリを外して支えていたが、通常より重く支えきれなくなり、バランスをくずし、ダンプの荷台と後アオリの間に指を挟み負傷した。	55	221	7	—
2017	1	9～ 10	スレート材の屋根上で、足場解体作業中に材料を運んでいる時に、2ヶ所ある搬入ルートのうちまだ道板養生が出来ていない方を歩き、屋根が抜けて7m下まで落下した。	20	415	1	1～ 9
			新築工事現場1階駐輪場において、内壁の吹付作業をする際に、全ての開口部を、ビニール養生にて閉塞した状態で、当該作業場所内部				

2017	1	13～ 14	にて、エンジンコンプレッサーを継続使用した。作業開始後1時間半ほど経過した時点で、発見されるまでの間にコンプレッサーの排気ガス充満による一酸化炭素中毒により、意識を喪失し倒れた。	38	514	12	1～ 9
2017	1	21～ 22	施工管理業務を行っている被災者は、当日1階打ち合せ室より2階事務所へ戻る為、階段で上がっていたが、最上段から2、3段下で足を滑らせ、1階まで滑り落ちた模様（現認者無し）。事務所にいた職員が確認した時は、階段下で被災者が横向きで倒れていた。意識はあったため状況を尋ねたが、覚えていない状況であり、頭を打った可能性もあるため病院へ搬送した。	63	413	1	10 ～ 29
2017	1	9～ 10	D4棟屋上で、被災者が作業にとりかかるため、スラブの型枠コンパネ上を歩いていた際、コンパネ上が凍っていたため足を滑らせ前のめりに転倒し、左目付近を強打した。当時、コンパネ上は全面霜が降りていて、凍っていたため通行しないように指示されていたが、被災者は近道行動をして転倒した。なお、頭部に異常は見られなかった。	44	419	2	1～ 9
2017	1	9～ 10	法面上での作業中、ロープと安全帯を付けて草刈り作業をしていたが、道具を取りに行く時に法面下の水平コンクリートの上を歩いて戻る時に、安全帯をはずして歩いた時に足を踏みはずして下に落ちた。	45	418	1	—
2017	1	11～ 12	撤去工事の現場に行く為、会社1階の倉庫にて防音シートをトラックに積み込む作業の際、防音シートを電動アップスライダーに乗せる作業を行うため階段を上り、安全ロープに安全帯をかけ整える際、バランスを崩して飛び下り、着地時に両足踵を骨折した。	58	417	3	—
2017	1	10～ 11	建替計画接道路にて外構工事業者が道路突貫工事における可変側道床付のための規則床付（H1000）を行い、端から山留措置をしていたところ、近く他業社のコンクリート打設時の微動影響があり、既存の石垣（H1100）が滑り落ちて転倒し、被災者の腰に当たった。	45	418	5	1～ 9

2017	1	11~ 12	新築工事現場の2F女子トイレにて、トイレブースの組立・設置作業中、トイレブースのパネルを巾300から240にカットしようと、片側は受け材の上に置き、もう片方を子方に持たせて丸鋸でカットしていた。カットの途中で丸鋸を修正して再開したところ、パネルを支えていた左手の位置を直すのを忘れていた為、左手が鋸歯に触れて被災した。当初受け材は2つあったが、別班に受け材を1つ貸し出した。車に予備があったが、この1枚で休憩になるので面倒がり、受け材が不足分を子方にパネルを持たせて作業を行った。鋸歯の出し代を20mmと出し過ぎていた。	61	131	8	1~ 9
2017	1	16~ 17	現場でローリングタワー足場（移動式足場）にて作業中、土間に凹凸があり、足場が横転し、作業をしていた者が落下しケガをした。	54	411	1	
2017	1	14~ 15	建物解体作業中、解体物をトラックの荷台に積み込むため後部のあおりを外した際に、あおり自体を支えきれず体のバランスが崩れ、背中側に向かって倒れた。倒れた際にあおりが右胸から右腕に当たり、右腕を骨折した。	26	221	2	1~ 9
2017	1	7~8	重機の整備中、待機している台船へ乗船時に、つまずいて高さ1m40cm~50cmの所から転落し、足の踵からの着地し左踵骨を骨折した。	38	149	1	50 ~ 99
2017	2	9~10	当社加工場において廃材の整理作業中、路面の凍結凹凸に足を滑らせ左足を捻り負傷したものである。	22	719	2	10 ~ 29
2017	2	6~7	当事務所1階倉庫内で現場に出かける準備をし、軽ワゴンボックス車の後方ドアを閉める時に下げた弾みでドア左下角を右額に強く打ち6針縫合した。（後方ドア左側に立ち右手でドアを下げた。）	24	231	3	1~ 9
2017	2	11~12	工場内製造一課にて冷凍スリ身をブロックカッター機械で裁断していたが本来ならスリ身を戻さないが、きちんと切れなかったため押し戻した際、上から降りてくる刃に指が触れ右手人差し指骨折裂傷してしまった。	46	372	4	1~ 9

2017	2	11~12	当事業所鉄鋼作業所外屋の屋根の雪下ろしの作業に従事していた。 スコップを使って、雪を下に落としていた時に、足が滑り、高さ2.5m位の屋根から雪と一緒に落下したものである。	50	415	1	1~9
2017	2	11~12	当該工事現場内の廃棄物選別棟内において、型枠を建込み、型枠を固定する際にアルミ作業台を使用し、固定作業を行っていたところ突風に型枠が煽られ、型枠及びアルミ作業台と被災者が調整池下に落下してしまった。	56	371	1	—
2017	2	10~11	共同住宅新築工事において杭頭処理中天端に乗ってブレーカーを使用中ノミ先が滑りブレーカーと鉄筋の先端に左手薬指を挟み負傷した。	43	145	7	1~9
2017	2	9~10	足場上で外壁塗装作業中足場下棧に接触した際、下棧が外れ約9m落下した。下棧を取り付けていたブレースピンが固定されていなかった為、外れてしまったと思われる。	54	411	1	1~9
2017	2	10~11	事業所の倉庫内において、作業員2名で道具の整理及び修理を行っていた。倉庫内の床よりレールジャッキ（16kg）を棚に移動する際、片手で作業していたので、持ち上がらず、勢いをつけて振り上げた時、棚の角とレールジャッキの間に指を挟み負傷した。	24	391	3	10~29
2017	2	8~9	1階浴室の型枠組みのための床墨出しを行い、作業終了後立ち上がろうとした際、突然立て掛けてあったボードが倒れ、下敷きとなった。その後周辺の作業員に救出され病院にて受診する。	58	529	5	30~49
2017	2	17~18	建設現場の片付作業中、階段で躓き転倒した。およそ2.3m程落下し、左足首を捻挫した。夕方の時間で暗くなり、視界も悪くなっていたが、早く終わらせようと急いでいた。	26	413	1	—
2017	2	16~17	解体建物3階リビング天井材の撤去作業中、脚立中段に乗り作業していて、バランスを崩し脚立が倒れた時に左足首より地面につき左足首を被災した。落下の高さは1.5m程度であった。	33	371	1	—
			本人は同僚4名と4F小梁の鉄骨取り付け作業に従事していた。先付				

2017	2	10~11	側でボルト入れに従事していた本人は、仮ボルトにナットを入れな い段階で後付側（無線合図者側）に取付完了の合図をした。後付側 の同僚は、仮ボルト入れが完了したので、玉掛けはずしの合図をク レーンOPに伝え、玉掛けワイヤーを緩めた。その際、先付側の小梁 がずれ落ち、ALC取り付け金物（C-100、L=350）と小梁に左手を挟 み被災した。	26	415	7	10 ~ 29
2017	2	15~16	計画新築工事にて、一階天井の梁鉄筋を組み立てる作業中、乗って いた可動式作業台より下りようとした時、誤って足を滑らせ約1.5m 下に転落し左手薬指・小指、左足膝を負傷した。	44	371	1	1~ 9
2017	2	10~11	会社事務所の下で、片付け作業中、トラックと荷物の間に左手小指 をはさみ、小指を切断した。	75	611	7	—
2017	2	8~9	新築工事において、2F庇の雨樋蓋を取り付けるため、2Fバルコニー から庇上に降りた際、腰袋が、壁に当たり、バランスをくずし、2F から1Fへ飛び降りた際負傷した。	57	415	1	—
2017	2	2~3	屋上設備機器置場にて既存室外機容量確認を行った後、設備架台か ら下りる際、足を滑らせ転落した。	45	419	1	50 ~ 99
2017	2	17~18	2階専有部で置床の材料（1枚1.8m×0.6m厚さ20mm、約10kg）を各 専有部に平踏みに間配りをしていた時に、先に平積みしていた材料 と荷運びしていた材料（3枚約30kg）を重ねるため下ろした時に、左 中指の指先1cm程を挟んでしまい指先が裂けて出血した。	24	522	7	1~ 9
2017	2	13~14	3Fの平坦な床上に置いた脚立の上で、壁型枠に取り付けた栈木が10 mm長かった為、当該部分を丸ノコで切ろうとした際、勢い余って左 手を丸ノコで切って負傷した。不安全行動として右手に持った丸ノ コの作動中に左手で安全カバーを上げている。	24	131	8	1~ 9
2017	2	11~12	企画ビル工事現場において、トラックを誘導しようと、ゲートを開 けた際に、トラックが、後方にバックした為、安全確認の為歩道に 向かった際、ゲート下部のワイヤーに足を引っ掛け転倒し、被災し	67	417	2	—

			た。				
2017	2	7~8	作業所内でトイレに行こうとした時、場内のトイレが使えず蜜向かいの公園のトイレに行こうとして、入口のゲート下のワイヤーが右脚に引っ掛かって転倒し、右肩を打ち鎖骨を骨折した。	67	417	2	1~9
2017	2	10~11	プラットホーム西側の監視室上で外壁材受け水きりの骨付作業を行う為外部足場から屋根上へ上がり鉄骨上部に移ろうとした際、足元が滑り3.3m下の1階床上（コンクリートスラブ）へ転落し受傷した。屋根上から鉄骨上部に移る際安全帯のフックを掛けていなかった。	48	417	1	1~9
2017	2	17~18	敷地内にて、高さ2mの足場板の上から資材を受け取る際に、受け取り損ねて、右手の甲に資材が当たり負傷した。	23	521	4	10~29
2017	2	20~21	3車線の真中車線を走行中、左車線の車に当てられ右車線に寄る。右車線の車に追突され横転して反対側車線に飛び出す。その時対向車線の車に衝突される。	37	231	17	—
2017	2	17~18	工事現場で屋根を剥がす作業を終了し、下に降りようと梁のある部分をつたって移動中、木毛板と梁の間にスレート固定用の横梁の隙間があり、足を乗せた木毛板が割れ沈み込む形になったためバランスを崩し横に転倒した。ぶつかった勢いで木毛板が割れ木毛板とともにそのまま落下し、約5m下のコンテナに1度ぶつかりさらに2m程下の地面に落ち負傷した。救急車で病院に運ばれたが同日死亡した。ヘルメットは着用していた。安全帯は使用していたが、被災時は降下の移動中のため使用していなかった。	77	415	1	1~9
2017	2	10~11	現場内の山留工事資材ヤードでH鋼材料（H550×150、L=6m、7本）を移動する作業をしている時に吊り荷を下ろす際、適正なりん木を使用していなかった為、荷を降ろした時に手前のH鋼が倒れ右足甲が下敷きになり被災した。	37	379	5	—

2017	2	11~12	クレーン作業時に必要となる足場を作成中、H鋼をバールで、てこの原理で持ち上げようとした瞬間、バールが外れてしまいH鋼（12mm）が落下し左中指先端が挟まれ損傷した。	70	364	7	10 ～ 29
2017	2	9~10	店舗内にて、間仕切壁を解体中に、ケイカル板とタイルを剥がそうとバールでこじたところ、塊となって左足に落ちてきた。	62	529	4	—
2017	2	16~17	事業所作業場において廃材物を片付けるため分別作業を行っていた。その際、マッサージ機械を運ぼうとしたが力を入れた体勢が悪かったため、腰部を捻挫した。	31	379	19	1～ 9
2017	2	13~14	1階外壁部において、横胴縁を取り付け作業中に安全設備を装着せずに、既に取り付けされていた横胴縁を上っていた為、足を滑らせて約5m下に墜落した。	20	418	1	1～ 9
2017	2	17~18	倉庫において、脚立上でマンション16号室改装工事現場で使用した材料を直していた際に、誤って足を踏み外したため脚立の天板で胸を強打した。	49	371	1	—
2017	2	9~10	玉ねぎ乾燥施設建設工事において、足場組立作業中バランスを崩し5m下の合板上に転落した。その際、全身を強打したと思われる。すぐに病院に搬送されたが死亡に至った。	76	411	1	1～ 9
2017	2	9~10	作業現場で、外部鉄骨階段の修繕を実施する事前準備をしている時に、隣接するブロック塀に足を掛けて歩を進めたところ、ブロックの天端が湿っていた為に足を滑らせ転落した。	69	419	1	1～ 9
2017	2	9~10	ビルの鉄骨増築工事において、鉄骨ストックヤードで荷捌き中に、鉄骨梁と鉄骨梁のフランジ部に指を挟んでしまった。	39	521	7	30 ～ 49
2017	2	9~10	改修工事において、作業終了後、キャットウォークから2階機械室へ昇降タラップを伝って道具を片手に持ったまま降りていた。途中で手を滑らせH1500程の高さから飛び下りたため、踵から着地し、左足踵骨折、右足を打撲した。	44	413	1	1～ 9

2017	2	17~18	作業現場での業務を終えて会社に戻る途中、県道で右折するため対向車待ちで道路上に停止していたところ、後方から加害者が運転する車が被害者の車（軽トラック）へ後ろから追突し、その際頭部、首に強い衝撃を受けた。	59	231	17	—
2017	2	16~17	既存建物3回で便所内部の壁タイルを、高さ約1.5mの立ち馬に乗って、チッパーで斫り撤去作業中、機械の反動でバランスを崩し、左腕を着くように転落し被災した。	37	411	1	1~9
2017	2	9~10	現場の支柱撤去作業を行っていた際、倒れてきた支柱で胸部を強打した。	45	418	5	—
2017	2	16~17	被災者は、個人宅解体工事現場（1階部分倉庫、2階部分住居）において、脚立（高さ1.6m）から降りる際、踏み外してしまい咄嗟に柱を掴んだが、解体中で柱が不安定になっていたため柱ごと倒れ着地した時に右足首を捻った。	46	371	1	—
2017	2	11~12	鉄板に穴明けをするポンチングマシン（倅い）を操作中、鉄板を掴むクランプに鉄板をセットした時、左の人差し指が鉄板とクランプの間にあるのに気付かず誤ってフットスイッチを踏んでしまい左人差し指をクランプに挟んで指先を負傷した。	60	152	7	30~49
2017	3	17~18	資材センター敷地内に倉庫を建設中に屋根部分のパネル張りをしているとき、足を踏み外して高さ3.6mから転落した。	65	418	1	30~49
2017	3	8~9	鉄筋組立工にて柱筋組立中、後ろへ移動したときに水が溜まっていたため、足元がよく見えず捨てコン端部を踏んでしまった際、ぬかるみに足をとられ右足首を捻った。	38	418	19	1~9
2017	3	9~10	倉庫新築に使用する鉄板をシャーリングで切断作業中、材料を押さえるための油圧部分に誤って手を突っ込んだまま、足踏み式の起動スイッチを自分で踏んで起動させてしまい、右手中指を損傷した（皮手袋着用）。	38	156	7	10~29

2017	3	13~14	会社倉庫内で倉庫内の資材整理のため重さ4kgの資材入箱を棚に上げる作業の際に、上げようと脚立（3段約70cm）にのぼったとき、誤って脚立から足を踏み外し、左足首を負傷した。	36	371	1	1~9
2017	3	8~9	本社2階から1階土木部へ戻る途中、手に持った書類を読みながら階段を下りていた。最後の1段と思い左足を少し大きく踏み出したときに階段を踏みはずし、左足から1階床に落ち、左足首が捻れて転倒し、左足首靭帯が伸びてしまった。	52	413	2	50~99
2017	3	13~14	1F風除室の天井作業を行うため、脚立を使用して立馬で作業を行わなければならなかったが、すぐ終わる作業と安易に考え、脚立を使用して作業していたところ、バランスを崩し倒れた脚立の上に転落した。	41	371	1	1~9
2017	3	9~10	発電所2号機復水器前において、復水器から抜き取った細管（1本4kg）を束ねた状態で肩に担いで運搬作業を行っていた。1回目に4~5本を束に担ぎ、2回目に7~8本を束にして担ぎ、3回目にも7~8本を束にして担いだとき、背中に痛みを感じた。	57	611	19	1~9
2017	3	11~12	資材置場において型枠の加工をしているとき、高さ80cmの整板台の上で電動ノコギリ（固定）で20cm×20cm×12mmの板を切っていたところ、切り離れた部分が飛んでしまい、その勢いで左手にノコギリが触れてしまい、左手中指を負傷した。	27	131	8	10~29
2017	3	9~10	内装工事において、天井ボード貼り作業中に6尺の脚立を使用し作業していたが、作業中に脚立の脚部が曲がり破損したため、近くで作業していた作業員に覆い被さるように倒れた。	41	371	4	30~49
2017	3	9~10	当社駐車場において、12tトラックの荷台に積んであった足場材（アルミ製）を定位置に降ろそうと荷台に乗り作業を始めようとしたとき、誤って足場材から足を滑らせ落下し、左胸部、左腕、腰を地面に打ちつけた。	38	379	1	1~9
2017	3	14~15	耐震リニューアル工事において足場解体工事中、単管と枠材の接合部材に挟まれ、左手人差し指を負傷した。	19	411	7	1~9

2017	3	16~17	資材置場にて1人で作業中に、物置上の資材を取るためにバタ角（120mm×120mm）の上に乗って作業をしていたが、バランスを崩してしまい、そのまま倒れて左足首を捻り負傷した。	22	522	2	~	30 49
2017	3	11~12	救急ロータリー棟屋上平地台車を、タワークレーンで新棟1Fスラブ上へ揚重していた。被災者は新棟スラブ上で合図をしていたが、型枠に荷が引っ掛かり傾いたため、支えようと手を伸ばしたところ、右手薬指を挟み被災した。	35	211	7	~	50 99
2017	3	9~10	足場の組み立て完了後、足場残材を下ろしている作業中、900枠材を持って外部足場最下段を降りているときに、持っている枠材が足場に引っ掛かり、その引っ掛かりを外そうとしたところバランスを崩して足を踏み外した。その際、高さ調節で使っている踏台の角に右腕をぶつけ、持っていた物で腕を挟まれた。	33	411	3	~	100 299
2017	3	16~17	ベビーサンダーを使い階段の溝の高さを下げる作業をしていた際、刃が跳ね返ってしまい左手首を切った。	46	153	8	1~	9
2017	3	11~12	改修工事の現場において、側溝の建て込んだ型枠の天端の切断作業中、電動サンダーの木用刃がベニヤの板に食い込んで弾かれ足元に飛び、右足内くるぶしの下を安全靴を通して裂傷し、止血後に救急搬送された。	41	131	8	1~	9
2017	3	8~9	会社資材置場で片付けの為の箱を作るにあたり、台1個でベニヤを割る時に鋸刃に触れて受傷した。	43	131	8	1~	9
2017	3	14~15	客先マンション外壁塗装のため、外部足場よりバルコニー内に進入時、手摺壁端から誤って足をすべらせバルコニー内に転落し、右膝を負傷した。	51	418	1	1~	9
2017	3	8~9	現場にバイクで向かう途中の交通渋滞中に、当方は直進しながら駅北口に向かっていたが、右側道路から直進し、車との間を通り抜けようとする乗用車の左バンパーが当方の右側面に衝突して転倒した。尚、当方からは、通り抜けようとする車が発見できなかった。	42	231	17	1~	9

2017	3	14~15	解体現場内で搬出する木材を重機でコンテナに集積していたところ、木材が重機のアタッチメントに挟まり、取ろうとして重機アタッチメントを上を上げて、その下に入り、人力で外そうとした勢いで、コンテナの秤と木材の間に親指が挟まり骨折と裂傷を負った。	51	522	4	1~ 9
2017	3	15~16	高さ約2.3mの場所にある鉄骨の梁の付着物を撤去するため、6尺の脚立の3段目までバールを持って上ったところ、バランスを崩して脚立から落下し、床に着地した際に右手をついて負傷した。	54	371	1	10 ~ 29
2017	3	4~5	工場にて夜間作業中、山留材として使用したコンパネを2tダンプから降ろそうとした時、コンパネを持った手が滑り、ダンプの荷台とコンパネの間に指を挟んだ。	46	522	4	10 ~ 29
2017	3	7~8	事務所前駐車場で、車庫入れのためバックしてきた車に接触した。（駐車場に待機していた時に車が入ってきた。）	19	231	6	30 ~ 49
2017	3	16~17	吹付耐火被覆工事の材料混合プラントで、解綿機に圧縮綿の塊を投入中に、解綿機の攪拌用ブレードに着用していたヤッケの袖を取られ、機械に右前腕部分を巻きこまれた。	49	169	7	1~ 9
2017	3	15~16	工事作業中、鉄骨材料（長さ2.7m、重さ約18kg）を2階へ担ぎ上げようとしたとき、階段の2段目を踏みはずし骨折した。	72	413	1	1~ 9
2017	3	10~11	3番線旧売店他撤去工事現場において、被災者が3番線ホーム倉庫屋根を外す作業中、スレート屋根を上部より外し、屋根材を持ち鉄骨下地を歩き、開口部付近へ運ぼうとした際、鉄骨下地部分より足を踏み外し、鉄骨下地のないスレート屋根に足をのせたところ、屋根が抜け約3m下の通路へ落下し、左肩を強打し骨折した。	33	415	1	1~ 9
2017	3	11~12	オーバードアスプリング巻き作業中に、ドアが上らないようにローラーの位置に合わせてバイスプライヤ等を左右の縦レールに固定すべきところ、固定するのを忘れた為、上昇してきたドアが高所作業車に真横からぶつかり、作業者が横倒しになった。作業者は、手摺	31	229	1	10 ~ 29

			に安全帯を掛けたまま倒れ、頭と腕を床に強打して負傷した。				
2017	3	10~11	解体工事において、1階及び地下1階の狭い範囲の中でエンジンポンプ（ガソリンエンジン）及び1.25t重機を使用中、換気が不十分であったため排気ガスが充満し、倒れて麻痺を起こし、救急搬送された。	60	514	12	1~9
2017	3	22~23	工事現場で昇降式移動足場アップスターに乗って天井の点検が終了し、降りる際に足を踏み外して床に落下し、右肘と右膝を骨折した。	23	411	1	1~9
2017	3	11~12	橋梁下部工のフーチング上で、足場組立にじゃまになる型枠金具を1.9m下にいる作業員に渡す際、木材に足をかけ滑って転落した。	46	418	1	1~9
2017	3	9~10	当該新築工事現場1階土間上で壁に立てかけていた、石膏ボード（1820mm×910mm×12.5mm）約26枚を壁から離そうとし、重量を支えきれず、石膏ボードが被災者の方に倒れてきて右足が下敷きになった。	21	522	6	30~49
2017	3	10~11	メーカータンクローリー積込場で、約30kgのホースと先端フランジを持ち上げ、残液をこぼれない様に右手にホースを支え、左手で空缶へ残液処理した際、腰に激痛が発生した。	37	411	1	100~299
2017	3	13~14	現場で新築工事中、カラーベスト屋根材を屋根上に貼るために作業中、左足は屋根の上で右足を足場にかけておこうとしたとき、滑って2階より転落し、腰や尾てい骨など3か所を骨折した。	33	411	1	1~9
2017	3	9~10	作業所内の地上下1.9mの地下ピット床上で、電動ハンマドリルを使用し、壁面への穴あけ作業中、足元での姿勢の悪い中での作業で、また電動工具の両手持ち用補助グリップの取付ができていなかったため、工具が振れて回転してしまい、左手・保護手袋とももっていかれ、左手小指を負傷した。	68	149	7	1~9
2017	3	15~16	屋上の大型室外機の天井プロペラ部分を解体中、工具を取ろうとし片足で飛び降りた所、地面に埋め込まれていたコンクリートブロッ	31	419	3	1~9

			クの上に着地してしまい足を挫いた。				
2017	3	15~16	1階にある台車が9階で必要となり、台車には生コンの入ったトロ箱（200kg）が乗っていた。2名で下そうと、最初は2名で持ち上げたが持ち上がらず、1名が台車を押さえ、もう1名がトロ箱を少しずつ下そうとした際、雨天のためトロ箱が滑り落ち、近くにあったトロ箱との間に右手人差し指を挟んだ。	57	379	7	1~ 9
2017	3	11~12	工事現場で台車に鋼材を載せて搬入する際に段差があり、乗り越える拍子に載せている鋼材が動き台車と鋼材に指を挟まれた。	27	362	7	1~ 9
2017	3	11~12	被災者は、朝からガイダンス棟屋根上軒先パネル取付作業に従事していた。別の作業員が屋根上で硬質木毛セメント板（900m×18000mm、t20mm、35kg）を2人で手作業にて運搬していたところ、1人が手を滑らし放したため、硬質木毛セメント板が垂木上を滑り落ち、軒先にいた被災者の右足に当たり負傷した。	67	611	4	1~ 9
2017	3	16~17	外部側から内部側への安全通路で、地中梁部を越す部分に立ち馬（可搬式作業台）を設置していた。被災作業員は躯体建物のPコン埋め作業を行うため、この立ち馬を渡る際、立ち馬上を歩き、降りようとした時に躓き、そのまま体勢が崩れて地面に飛び降り、左足の踵を骨折した。	77	417	1	1~ 9
2017	3	14~15	5階天井躯体補修（ハツリ）作業にて、集塵機をもつ合番者として立馬上で作業していた。天井カッター切を東西方向に切り終わり、一旦作業を止め、南北方向にカッターを入れるため、集塵ダクトの向きを変えようと立馬上で移動した際に、足を踏み外した。立馬から落ちた際に左足を捻り、倒れこんだところに置いてあったオリオン作業台に顔をぶつけ、左上まぶたを裂傷した。	65	371	1	10 ~ 29
2017	3	13~14	現場にて家屋解体の瓦降ろしをしていた際、場所を移動するため安全帯を付け替えていたところ、屋根板が抜け落下し、右肘と右腿を負傷した。	40	415	1	10 ~ 29
			会社加工場にて、翌日運搬予定の型枠資材をトラックに積み込む作				

2017	3	17~18	業を行っていた。一部積み漏れた金物があったためフォークリフトのフォークにコンパネを敷き、トラック荷台の金物収納箱に手積みしようとした。トラック荷台も型枠資材の上に立ち金物を持ち上げようとコンパネに足を掛けてしまい、コンパネが滑り落ち、当人もバランスを崩し墜落した。	55	416	1	10 ~ 29
2017	3	7~8	会社集合場所から作業所へ移動中、本線から下り料金所手前の直線路で車体左側を縁石か壁面に接触させ、その反動で車体が横転し被災した。	19	231	17	10 ~ 29
2017	3	11~12	1~2階の階段踊り場上部にて、鉄骨梁の上でアルミ製建具の位置決め作業をしている時に、足元に置いてあったくさびを取ろうとして体の向きを変えた時、腰袋が鉄骨柱と接触しバランスを崩し、梁の上で足元が不安定になり、足場を組んでもらう親網を設けてもらう等、処置をせず転落しそうになったので、自分で飛び降り足を強打した。	62	418	1	1~ 9
2017	3	10~11	鉄骨造2階建の社屋新築工事現場で休憩をとるため、2階から下へ降りようとして足を踏み外し落下し、背中を強打し、腰を痛めた。	34	418	1	10 ~ 29
2017	3	16~17	自社倉庫作業場で、現場から小型貨物自動車を持ち帰った積荷を降ろす際、後ろ向きに移動中、バランスを崩して荷台より落下し、左手首を負傷した。	68	221	1	10 ~ 29
2017	3	11~12	会社の倉庫を片付中、アタッチメントのピンを左足の甲の上に落とした。	37	521	4	10 ~ 29
2017	3	17~18	鶏舎新築現場において、鶏舎の壁貼りの作業を足場上で行っている際、ボードの切断が必要となり左手で押さえ、右手でマーキングしようとした際、無理な体勢になり、又、雨が降ったこともあり、足場が濡れていたため足を滑らせ、足場上より墜落した。	62	411	1	10 ~ 29

2017	3	10~11	新築現場において安全パトロールを行っていたところ、足場階段から足をすべらせ、階段の角に後頭部及び背中を強打し負傷した。	63	413	2	30 ~ 49
2017	3	8~9	鉄筋コンクリート造3階建ての3階で、解体及び解体材搬出作業を行っていたところ、解体材を肩にかついで移動した際に、コンクリートスラブの開口を塞いでいた鉄板の上を歩き、鉄板が重さに耐えられず抜けてしまい、2階スラブへ落下し（高さ3.2m）、腰を強打してしまった。	23	414	1	10 ~ 29
2017	4	14~15	寺舎新築工事の際、2階躯体にて居室スラブと3階スラブの間かつ梁と壁で挟まれた狭い場所での型枠解体作業で脚立を使用して行っていたところ、型枠を脱型する際、バールを型枠とコンクリートの隙間に差し込んだ時に身体のバランスを崩して踏み外し、着地したとき右の足首をひねってしまった。	66	371	1	10 ~ 29
2017	4	11~12	2階型枠支保工解体時、外部軒下の型枠解体材（ベニヤ）を内部側へ移動の際、ベニヤの釘がズボンに引っ掛かり体勢を崩して、反動で脚立足場（1.4m）から転落し、右膝下部を打ち負傷した。	65	411	1	1~ 9
2017	4	11~12	当社駐車場においてポンプ車を洗車中、後向きに歩いてつまずいて転び、足をひねった。帰宅して様子をみたが、右アキレス腱のあたりが痛くなった。	63	417	2	1~ 9
2017	4	9~10	当工事構内にてコンクリート製基礎ブロック72個（25cm×25cm×25cmの空洞ブロック）をトラック荷台から台車に積み替える等の作業中、腰痛が出始めた。	27	529	19	10 ~ 29
2017	4	9~10	工事のため足場組立作業中、屋上の天窓を天窓とわからず強度を確認しないで歩いてしまい、天窓が割れたため転落した。	25	415	9	1~ 9
2017	4	13~14	地山掘削（掘削深さ・地盤面より1.4M）において、仮設の山留設置作業をしたところ、法面が崩れ、退避中に転石し、仮設資材にて右後頭部・右頬・右足首部・左胸を打撲し、右頬に切傷を負った。	52	711	5	30 ~ 49

2017	4	13~ 14	浄化センター耐震補強工事中、脚立に上がって（高さ600）天井下地の計量鉄骨撤去作業をしている時、切断用のベビーサンダーが反動で跳ね返って頸に当たり、前頸部を負傷した。	38	153	8	1~ 9
2017	4	11~ 12	溶解炉の下で脚立を押える作業時に、上部でスレート屋根材を撤去作業中だったが、下方での作業報告をせずに作業をしていた結果、上から物が落ちて来て肩と首に当たった。	44	521	4	10 ~ 29
2017	4	9~ 10	建設中の自動倉庫内部でウレタン耐火コート吹付作業を行っていた。吹付作業場所を移動する為、被災者は棚11段目から棚8段目（高さ約11m）へ階段で移動した。8段目には吹付け用ホースを上げ降ろしする為の開口があり、被災者は足場上で足を踏み外し（推定）、床上へ墜落した。	64	416	1	10 ~ 29
2017	4	14~ 15	各住戸の袖壁カッター入れ作業を開始し、脚立を使用しながら数か所の作業を行っていた。4尺脚立の天板に乗った際にバランスを崩して転落し、倒れているところを付近で作業をしていた作業員が発見した。	53	371	1	10 ~ 29
2017	4	11~ 12	資材置場にて布板（1,829mm×500mm）を積み重ねる資材整理作業中に、持っていた布板とその下の布板との間に左手指を挟み負傷した。	65	379	7	30 ~ 49
2017	4	9~ 10	汎用品の鉄筋部材を作成中に鉄筋と機械の間に第二指を挟んだ。	21	169	7	1~ 9
2017	4	16~ 17	昇降機設置工事中、主ロープの掛け間違いに気付き、復旧方法を検討し再度主ロープの掛け間違いを確認する為、カウンタープーリー部まで左手にて主ロープをガイドしながらエレベーターを降ろした際、左手人差し指が主ロープとカウンタープーリー間に挟まれた。	23	214	7	100 ~ 299
2017	4	17~ 18	会社の置場でトラックからセメントをおろしていて、タイヤに足をかけ足がタイヤから外れ、鎖骨を荷台のあおりにぶつけて骨折した。	32	221	3	1~ 9

2017	4	8～9	資材置場において中学校の改修工事へ行くための資材の積み込みを行っていた。バッテリー溶接機（40kg）を車に積み込むために中腰の状態から持ち上げようとしたところ、腰を捻ってしまった。	27	339	19	1～9
2017	4	15～16	新築マンション3階から5階へ型枠材を荷揚げ作業中、5階にいる作業員が型枠パネルを持ち上げる際に手を滑らせ、5階から4階約2.9m下へ落下させた。その際、4階作業員が落下してきたパネルにより足を負傷した。	23	522	4	30～49
2017	4	11～12	2階EVホールで建具（FIXサッシ、W=365mmH=2775mm）の取り外し作業を行っていた。エレベーターホール側よりセットハンマーにて建具下枠の巾木部分をロビー側に平行移動させるため直接叩く際、作業を行っている建具の向かい側に立膝の姿勢で座っていたが、セットハンマーで下枠を直接叩いていたところ、手元がくるいハンマーが下枠に当たらず通過し、反対側に座っていた被災者の右足ひざ部分に当たった。	51	364	6	1～9
2017	4	13～14	土間のコンクリート上に立ち馬を設置し、地上から2.7mの鉄骨の梁を溶断し切り落としの作業中に、切り落とした梁が立ち馬に接開し、前のめりに落下し後頭部を強打した。ヘルメットは装着していたため頭部は切り傷程度であったが、第3頸髄を損傷した。	68	419	1	10～29
2017	4	10～11	被災者はALC（H=2.5m、W=60cm、D=10cm、約80kg）3枚の建込作業を一人で行っていた。2枚の建込、本固定が終了し最後の1枚を立てしゃがんで微調整を行っていた際、ALCが傾き、支えきれず被災者の上に倒れ下敷きとなった。	67	529	5	1～9
2017	4	9～10	場所打杭工事において、安定液の注入が完了したため、ホースを移動するべく吐出口金具の取手にクレーンの孫フックをかけて吊り上げたところ、取手の溶接部が外れ、吐出口金具が落下して金具が跳ね返り、下部で作業していた作業員の左ふくらはぎに当たった。	59	379	4	1～9
			現場前路上に4tダンプを止めて重機にて泥出し積み込み作業中、荷台に乗り泥を均していた。アオリが低いいため泥こぼれ防止の板を				

2017	4	14～ 15	キャビンに置きアオリに立っていた際、足元が危うかったのでキャビンに逃げようとして板に足を掛けたところ、重さで板が持ち上がり、その勢いで道路に左腕から転落した。	42	221	1	1～ 9
2017	4	11～ 12	被災者はM6階で可搬式作業台を用いて耐火被覆作業に従事していた。梁の耐火被覆吹付が終了して、ホースを可搬式作業台の作業床上に置き後ろ向きで降りる際、最上段ステップから足を踏み外し転倒し、着地時に右足首を被災した。	37	371	1	10 ～ 29
2017	4	11～ 12	複合施設建築現場で、1階ロビーで火災報知器設置工事の下準備をして、ローリングタワーを用いて天井内の配線調査を行い、ローリングタワーを降りる際、約2mの高さから足を踏み外して床に滑り落ち、左目周囲を負傷した。	41	411	1	1～ 9
2017	4	13～ 14	営業業のため歩道を歩行中に、前方から歩行する人とすれ違う際に接触を避けようとして、建物側（左側）へ寄ったところ、歩道と段差が生じている箇所（階段部）へ転倒し、左足小指を骨折した。	57	413	1	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	足場の解体作業をレッカーを使用し、ブロックで行っていた。玉掛をはずし巻き上げる時に介錯ロープが足場からみ、足場が倒れ、挟まれて負傷した。	23	411	1	—
2017	4	13～ 14	工場棟2階ボイラ補機スペース内のボイラ用薬液注入装置前で共同作業者と配管フランジの交換作業を行っていた。その時に同じ作業場で、別の作業員が配管の耐圧試験をコンプレッサーを使用して昇圧作業を行っていた際、使用していたホースが破裂し、被災者の左耳で大きな音が鳴り受傷した。	41	391	15	1～ 9
2017	4	16～ 17	現場内へ砂利を積載した2tダンプを乗り入れるため、ダンプを停車させゲートを開けていたところ、無人になったダンプが動き出し接触し、ゲートと共に押され足場とダンプに挟まれた。	36	221	7	1～ 9
2017	4	5～6	現場へ向かうのに走行していたところ、左の建物のところからトレーラーが出てきて、ブレーキが間に合わず衝突してしまった。	46	231	17	10 ～

									29
2017	4	5~6	現場へ向かうのに走行していたところ、左の建物のところからトレーラーが出てきて、ブレーキが間に合わず衝突してしまった。	30	231	17	~	29	10
2017	4	5~6	現場へ向かうのに走行していたところ、左の建物のところからトレーラーが出てきて、ブレーキが間に合わず衝突してしまった。	45	231	17	~	29	10
2017	4	13~14	環境プラントにて衣類積み込み作業中、トラック荷台にて衣類のフレコン（トンブクロ）を積むためにユニックで載せる作業をしている最中、フレコン（トンブクロ）が当たり、荷台から転落して負傷した。	29	169	8			1~9
2017	4	10~11	資材置場において、6m×2m×2m×厚さ5mmの水槽をユニック車で運搬するため、幅2mで3分割する作業を行っていた。水槽は横向きに置いてあり、水槽内内側から下面→横面→上面の順に切断していった。上面を切断し終わった後、上面と側面の溶接箇所が錆びていてもろかったので切断した上面の鉄板が倒れ、下半身が下敷きになった。	49	521	4			100~299
2017	4	14~15	鉄骨の梁上でガス溶断を行う為に移動中、降り積もった鉄粉で足が滑り床に墜落した。（鑄造所である為に梁の上に鉄粉が積もっていた。）	47	415	1			1~9
2017	4	9~10	倉庫・車庫新築工事において、2階の床部分で3尺間隔の桁材（150ミリ×240ミリ）に床合板（28ミリ）を配って置こうとした際桁材部分へのかかりがすくなかった為、床合板が滑って一緒に落下し、臀部を1階のコンクリートで強打し腰椎を骨折した。	35	416	1			1~9
2017	4	14~15	鉄骨造3階建の建物（一部3階）を人力にて軽量（C型鋼）を溶断完了後、脚立からバランスを崩して右脚側面から床へ転落した。	43	371	1			1~9
			当社資材置き場において資材整理を行っていた時、移動中に鉄筋を						

2017	4	11～ 12	束ねてある上に飛び乗ったところ、鉄筋が崩れ、バランスを崩し転倒してしまった。その際左手から先についた為、左示指を骨折負傷した。	52	521	5	1～ 9
2017	4	14～ 15	3階西面でALC建込の作業中、ALC版連用ウィンチを操作し版の吊下しを行っていた際に、3FL+3500の高さに仮溶接されていたサッシ開口補強用のLアングル（L=90×90×7L=3350、約30kg）にウィンチのチェーンが接触し、競った状態で操作を行ったためLアングルが衝撃で外れ、被災者の右前腕に落下した。	19	219	4	10 ～ 29
2017	4	14～ 15	建物解体工事現場にてコンクリート土間に手持式のエアカッターにて深さ90mmのカッター入れ作業を右足の膝を土間につけ、片膝立ちの体勢で行っていた所、何らかの原因で、エアカッターがはね上がり、その反動でカッターの回転部が右足の膝上に当たり負傷した。	38	149	8	10 ～ 29
2017	4	10～ 11	被災者は新築工事現場から工事事務所へ戻るため、工事事務所前の横断歩道を青信号で渡っていたところ、左折してきた乗用車に接触し、ボンネット上に乗り上げて地面に落下した後、左手をタイヤに踏まれた。	53	231	17	50 ～ 99
2017	4	15～ 16	杭打機組立作業中に、杭吊り上げ用ワイヤーがタラップに引っ掛かったため、オーガーモーターに乗りワイヤーを外し、降りる際にバランスをくずし巻き下げをしているワイヤーを手で掴み滑車に指を挟んだ。	44	212	7	1～ 9
2017	4	8～9	階段室1の1F～2Fの踏面に下がりながら接着剤塗布作業中に、足を滑らせ転落した。その際ヘルメットのアゴ紐が外れ、ヘルメットが外れた状態で頭部を強打した。	68	413	1	1～ 9
2017	4	14～ 15	駐車場付近に植えてある木を伐採していたとき、二股に分かれた幹の上で作業中、倒木と二股に分かれた幹の間に右足が挟まれた。	62	521	1	50 ～ 99
			解体予定の建物内にて、タンスの木枠をばらしている最中、その廃				

2017	4	16~ 17	材につまずき、バランスを崩し転倒し、右手・右足をコンクリート地面につき負傷した。	62	417	2	1~ 9
2017	4	9~ 10	倉庫新築工事において、屋根・壁・樋等の板金工事施工のため、足場の1段目にて作業の準備中、誤って約2m下の地面に転落した。その際に頭部を打撲して急性硬膜下血腫となり、死亡した。	66	416	1	1~ 9
2017	4	16~ 17	10tダンプの清掃中で、脚立にのり窓を拭いていた時に足を踏み外し落下し、左足小指を骨折した。	42	371	1	10 ~ 29
2017	4	13~ 14	平屋建ての建物内部からALCパネルをウインチにて吊り上げ作業中、両端I型ナイロンスリングで吊り上げたパネルが不安定な状態にならないよう介錯ロープを使用して誘導作業していたが、吊り荷直下に足がある状態で作業をしていた時にスリングが破断し、右足上にパネルが落下した。	46	372	4	10 ~ 29
2017	4	9~ 10	駅前プロジェクト現場内で重さ1.5tの給水ポンプ搬入作業を重量鳶との合番作業中、1.5tの給水ポンプを2.5tフォークリフトにて重量鳶所有の台車へ乗せ、作業終了後、重量鳶4名では台車を押す事が出来なかったので手伝いを頼まれた。台車のタイヤがロックされていると思い、タイヤのロックを外そうとした時に台車上の給水ポンプのバランスが崩れて給水ポンプが転倒し、ポンプの下敷きになり死傷した。	47	612	5	30 ~ 49
2017	4	9~ 10	駅前プロジェクト現場内で重さ1.5tの給水ポンプ搬入作業を重量鳶との合番作業中、1.5tの給水ポンプを2.5tフォークリフトにて重量鳶所有の台車へ乗せ、作業終了後、重量鳶4名では台車を押す事が出来なかったので手伝いを頼まれた。台車のタイヤがロックされていると思い、タイヤのロックを外そうとした時に台車上の給水ポンプのバランスが崩れて給水ポンプが転倒し、ポンプの下敷きになり死傷した。	46	612	5	30 ~ 49

2017	4	13～ 14	マンション計画新築工事の荷上げ作業中（室外機40kg）、立馬に仮置しスロープと仮設階段でロングスパンエレベーターに移動する際、重心を崩して立馬から地面に落下し、仮設階段のクランプに左足ふくらはぎをぶつけ裂傷した。	53	371	1	50 ～ 99
2017	4	14～ 15	作業所のエレベーターシャフト内、各階に設けた足場板全面敷ステージの9階部分で、被災者が脱型した型枠材を足元に積み壁型枠解体作業を行い、材料を勢いよく積み込んだところ、足場板を支えていた単管を固定する先端クランプのボルトがアンカーから緩み、荷重の掛かったところから順次外れて行き、1階下のステージまで滑り台のような形になり、荷と共に滑り落ち、型枠材に左足首を挟まれた。	65	411	5	1～ 9
2017	4	14～ 15	フォークリフトを使用し仮設足場材の運搬作業を行っていた際、荷下ろし場には床から3.1mの高さに鉄骨梁材があり、鉄骨梁とフォークリフトのマスト部分が接触したためフォークリフトが転倒し、投げ出された被災者が下敷きになった。被災者はフォークリフトの荷揚げ部分（ツメ）を上昇させたままバックしたと思われる。（上昇したマストの天端高さは3.3mであった。）	37	222	2	10 ～ 29
2017	4	14～ 15	4尺の脚立にまたがって乗り、コンクリート柱に打ち込まれた木レンガを電動チップーを使用して撤去作業中、体の向きをかえようとしてバランスを崩し、脚立が転倒し、約90cmの高さからコンクリート床面に左肩側から墜落した。	37	371	1	1～ 9
2017	4	15～ 16	物置場内を徒歩で移動中に、30cm位の段差を降りる際に左足を捻ったまま着地してしまった。	35	418	19	1～ 9
2017	4	15～ 16	鉄筋コンクリート造15階建て住宅建設工事現場で、杭打機の解体中に吊荷がはね上がり、杭打機と吊荷に手を挟まれた。	21	143	7	1～ 9
2017	4	11～ 12	会社内倉庫にて木に溝を掘るため、昇降盤を作動させていたところ、ノコによって木が跳ねて、木の先端を押さえていた左手が勢いで機械に当たり負傷した（左手親指・人差し指・中指）。	64	131	8	1～ 9

2017	4	11~ 12	車庫解体工事でスレート瓦を撤去しようとハシゴを登りスレートの上に上がりスレートを剥がそうとした時に、はりの木が腐っており、スレートごと踏み抜いて背中から、転落した。なお、安全帯は使用しておらず、高さは2.5mであった。	46	415	1	1~ 9
2017	4	10~ 11	鉄骨建方中、水平ネットの隙間が大きいことに気づき修正するため鉄骨胴縁に足を掛け、安全帯を使用せず片手で身を乗り出して作業中に、手を滑らせて転落した。	21	418	1	1~ 9
2017	4	16~ 17	エレベーター取り外し作業中、2階部分レール受け鉄板を別の作業員が取り外す為にボルトをゆるめる作業をしていた。1階部分で被災者が人払いと監視をしていた際に、2階部分よりボルトを外し、声をかけ合いながら作業していたが、厚さ12mm長さ700mm×150mmの鉄板が落下し、1階部分のエレベーターBOXのかどに当たり、予想外の方向にはねて本人を直撃し、顔を裂傷した。	47	521	4	1~ 9
2017	4	11~ 12	倉庫改修工事のため、鉄骨屋根金物取付作業中に、ガス使用にて金物切断部から火が跳ね飛び火が土間に置いていた資材・保管材料の養生隔間に移り、慌てて消そうと足で数回踏んだ際に、右足脛を負傷した。	65	331	11	10 ~ 29
2017	4	9~ 10	会社の土場で資材の片付け中につまずき左肩を資材にぶつけて負傷した。	68	416	2	10 ~ 29
2017	4	14~ 15	倉庫の屋根補修作業中に、被災者はプラスチック製の明かり取りの上を歩行し、明かり取りを踏み抜いて高さ5メートル程度の高さから倉庫内床面へ墜落した。	39	415	1	1~ 9
2017	4	9~ 10	共同住宅新築工事現場で天井下地組みの際、足場板を踏み外し転倒し、軽鉄材で左腕を負傷した。	34	521	2	1~ 9
2017	5	8~9	低層棟1階にて朝礼に参加後、地下1階の休憩所にて全体KY活動に参加するため、高層棟鉄骨階段（南側）を利用し地下1階まで駆け下り	52	413	1	100 ~

			ていた。その際、段差養生用仮設踏板と鉄骨階段の本設段板との間に右足を引っ掛け、階段を5段程度滑り落ち、左足首を負傷した。					299
2017	5	11～ 12	敷地内にて高さ3m程の植栽の枝払い作業時、7尺脚立（H1970mm）単独使用にて枝を切り落とす際に、枝の反動によりバランスを崩し、脚立が倒れて転落した。	52	371	1	～	10 29
2017	5	14～ 15	建築基礎工現場にて梁底型枠を取り外す作業中、ハンマーで型枠を叩きコンクリートから剥がす際にコンクリートに右手をぶつけた。	47	364	3	1～	9
2017	5	16～ 17	H=GL+約800mmの玄関ポーチ上から、次の住戸へ移動するために、プラスチック製のステップに足をかけて降りようとしたところ、プラスチック製のステップの端を踏んだためステップから転倒し、捨てコンクリート上に落下転倒し、左手首を捨てコンクリートに打ちつけた。	48	379	2	1～	9
2017	5	14～ 15	敷地内の建物修繕中、足場パネル設置のため、当該パネル2枚を被災者が2枚持ったところ腰部を痛めた。	43	521	19	～	10 29
2017	5	16～ 17	工事現場において、建物外部の洗浄をするため、足場の一段目に乗る、スポンジで外壁を洗浄中、足場から誤って足を踏み外し落下し、足と左肩をついて着地後、花壇に頭をぶつけ負傷した。	54	411	1	1～	9
2017	5	10～ 11	基礎工事中の建設現場で地中梁の配筋状況を確認中、次の場所へ移動しようと思い地盤の高さを見た時、1m以下で低く見えたのでつい飛び降りてしまい、右踵骨骨折してしまった。	62	419	1	～	50 99
2017	5	10～ 11	自社置場において、モルタルミキサー内部のケレン作業中、右長靴内部にセメント削り溶剤が入り、その後数時間放置したところ、右下腿を負傷した。様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	24	514	12	1～	9
2017	5	13～ 14	内部階段M階～3階の踊場上で間切壁の下地ピースを溶接作業時に保護マスク遮光面を装着し、目線の高さ姿勢で鉄骨梁の上フランジ下側に溶接中、火の粉が跳ねて左耳に入り、音が聞こえにくい状態に	39	331	11	～	30 49

			なった。				
2017	5	13～ 14	躯体斫り工事のため、斫り工2名、相番工1名（被災者）、監視人1名で作業中、足場上より墜落したと見られる。	56	411	1	50 ～ 99
2017	5	14～ 15	クレーンによる荷取りステージ揚重作業中、荷取りステージに長尺物の荷揚げを行う前に荷取りステージの先端手摺を外し作業を行った。長尺物の荷揚げを完了し、手摺を復旧せず作業を引き続き行った際、パレットに箱物をのせて荷揚げし箱物を荷取り後、パレットを下ろす時にパレットに玉掛けを行うには配置が悪く、相番者に少しパレットを移動するように指示を受ける。被災者は落下を防ぐ安全帯を掛けておらず、5～6歩勢いよく後ろづたいにさがり、足を踏み外しパレットと共に地上に落下した。	29	418	1	1～ 9
2017	5	9～ 10	木造2階建て解体工事現場で、作業員が重機のアタッチメント交換時に、固定ピンの位置合わせをしていた際、無意識に置いていた左手を機械の部品に挟まれた。	21	145	7	30 ～ 49
2017	5	9～ 10	資材置場（土場）にて、石の片付け作業中に、約40kgの石を地面に置く際に、石と地面に右手薬指先を挟まれ骨折した。（当社には事務所、倉庫、土場に常駐する従業員はいない。）	34	523	7	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	建築工事現場で、仮設通路に鉄骨搬入トレーラーを誘導中、運転手に声を掛けて誘導しようとした際、トレーラーのタイヤが敷鉄板上でスリップし、敷鉄板が被災者側にスライドして、被災者の左足部を直撃した。	29	221	6	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	足場組立中にウインチ作業をしている時、木製足場板（4.0m）をたて吊りしている時、真中の足場板が抜けて落下し、下にいる鳶工に当たった。	23	379	4	10 ～ 29
2017	5	15～ 16	通勤路（帰路）の緩やかなカーブにて、10tダンプカーと乗用車が正面衝突した。その際、乗用車の後部座席に乗っており、シートベルトをしていなかった。	31	221	17	1～ 9

2017	5	15～ 16	事故現場である通勤路（帰路）の緩やかなカーブにて、10tダンプカーと乗用車が正面衝突した。その際、乗用車の後部座席に乗っていた。	22	221	17	1～ 9
2017	5	11～ 12	建物北西側の屋根大梁上で、パラペット胴縁を束柱に取付していた時にバランスを崩し、約9.4m墜落した。	45	418	1	1～ 9
2017	5	8～9	トラックで商品を配送に行き、トラックから降ろしたカゴ台車を店内に運ぶ作業中、店のスロープ（上り勾配）を、台車を押して上がっていたところ、左ふくらはぎから激痛があり、その場で動けなくなり、左腓腹筋捻挫症、左足関節を捻挫負傷する。	59	412	1	1～ 9
2017	5	15～ 16	資材置場にて、足場資材（1200幅ビティ杵、ビティ棒：幅1200、高さ1700、重量18kg）の整備作業中、頭上にあつた資材の重量を甘く見積もり、容易に降ろせるものと思っていた。高さ約2.2mの位置にあつた資材を引き降ろそうとしたが、資材のバランスを崩してしまい、支えきれずに右足甲へ落下し負傷した。多少の痛みはあつたが大丈夫と思い帰宅したあと、徐々に腫れて痛みも増してきた。	54	521	4	—
2017	5	11～ 12	工場内で棚の片付けをしている時、材料の入ったダンボールを整理していて誤って足を踏み外した。	37	416	1	1～ 9
2017	5	15～ 16	事務所に行くため、本館建物を普通に降りている際に躓き、左足で着地した時に前方に折れ曲がり転倒した。	49	418	1	1～ 9
2017	5	13～ 14	1階廃材積込場所でカゴ車にて廃材コンテナに廃材（ボード屑）を積み込み作業中、床と廃材コンテナとの段差が28cm程度あり、鋼製布板を2枚（W500+240）を平行に設置し、スロープを作成してカゴ台車で積み込んでいた時、W240の鋼製布板が外れ、そのはずみで右脛を打撲挫創した。	35	611	3	30 ～ 49
2017	5	11～ 12	現場敷地内にてトラックへの型枠材積み込み時、トラックから下りるときに後ろ向きにジャンプして下りようとし、型枠材（荷台上）に足が引っ掛かって転落し、左膝を強打した。	38	221	3	30 ～ 49

2017	5	16～ 17	現場1階に向かう通路右側の既設窓枠鉄格子を撤去する為、被災者は ボールを使用して取外そうとしたところ、ボールが外れ尻もちをつ いた。	42	379	19	1～ 9
2017	5	13～ 14	マンションの地下駐車場において、土間コンクリートをコンプレッ サーの研り機で研っていたところ、ピックの先端部分がコンクリー トの上を滑り、右足の位置がピックと近すぎたため右足の甲に刺さ り、右足甲部分を開放骨折した。	25	149	6	1～ 9
2017	5	12～ 13	尿溜槽において、開口部表示がされている養生材（コンパネ、外れ 止め処置済）を誤って開けてしまい、尿溜槽内へ落下した。尿溜槽 内へ約50cm程度水が溜まっていたため大事には至らなかったが、落 下した際に両肘をついて10針程度縫う外傷を負った。	72	414	1	30 ～ 49
2017	5	16～ 17	リフォーム現場（予定）調査の為、3階の部屋へ行き、調査後に3階 から2階へ降りる階段を2段降りたところで左足を滑らせ、右足を接 地した反動で左足を振り上げ、着地の際に強打して骨折した。	53	413	1	10 ～ 29
2017	5	8～9	製紙原料部改修工事現場において内部鉄板撤去作業準備中、鉄板と 外壁スレートの間隙（約30cm）に紙くず等の可燃物が入り込んでい たため、火災予防策として鉄板（高さ約3m）に掛けた梯子に登り、 水撒きを終えて梯子から降りる時に足を踏み外してバランスを崩 し、高さ約1.4mから落下して腰部を負傷した。	61	371	1	1～ 9
2017	6	11～ 12	被災者は型枠内の水洗い掃除作業中、水タンクから作業場所まで ホースを移動する際、途中でホースが絡まったため、立入禁止柵を 乗り越えてホースを外そうとした時、誤って法肩から転落し背中を 打撲した。	39	416	1	10 ～ 29
2017	6	14～ 15	個人宅新築工事現場にて、建方作業中、1階天井パネル上で腰を曲 げ、前屈みの姿勢で右手で持った釘打機を使用してパネル同士を固 定していた際、鉄の破片が飛来し、右目に混入した。	32	521	4	10 ～ 29
			当社倉庫からモルタルミキサー（60kg）を運び出し、トラックへ積 み込む作業を1人で行っていった。ミキサーを抱えた姿勢で押し上				30

2017	6	16～ 17	げ、荷台へ入れようとしたところ、ミキサーを押し切れずに落ちてきたので、支えようとしたところ、右脚に負荷がかかり、右膝を痛めた。	60	149	4	～ 49
2017	6	16～ 17	新築工事現場で、型枠組立取り付け作業中、40cm程の高さのコンクリート基礎の上から地面へ降りる際に、碎石に足を取られ、左足首を捻って両膝を地面に打ちつけた。これにより左足首と両膝を負傷したものである。	50	418	1	—
2017	6	14～ 15	当社敷地内において、コンクリート管（直径90cm、厚さ10cm、長さ約2m）をエンジンカッターを使用して輪切り状に切断後、転がして移動させようとした際、切断部分に右小指を挟んでしまい負傷した。なお、当作業は、植木鉢として使用するために、コンクリート管の加工を顧客から依頼されたものであった。	28	529	7	1～ 9
2017	6	11～ 12	アンテナを取り外していたところ、スレート屋根を踏み抜き、6.2m下のコンクリート床に墜落した。	75	415	9	1～ 9
2017	6	13～ 14	屋根折板の現場成型中、成型機から出て来た、長さ約50mm、厚さ0.6mmの屋根（下弦）材を3人で並んで成型機から出し、屋根葺き作業をしていた。10mの成型機の7m程度が通過したら、次のコイルを入れて順次成型していた。成型機からの出し作業が若干遅れ、もたつきがあり、次の材料が接近してきたため成型機側にいた人が少し前に押ししまい、反対側の方は滑り落ちると思い、咄嗟に先端に持ち替え押さえようとしてしまった際に、パテペット受けの鉄骨に右手の指を挟まれてしまい、小指を切断してしまった。	34	521	7	1～ 9
2017	6	9～ 10	マンション新築工事現場にて、スタイロフォーム張りの際、隙間目張り作業中に、雨で濡れたスタイロフォームを踏み、足元が滑り転倒した。その際に、左膝を打ち負傷したものである。	64	416	2	1～ 9
2017	6	9～	使用する木枠（60cm×3m程度）を立てて、電動ドリルで穴を開けながら金物を取り付ける作業を二人組で行っていた。周囲で電動ノコ	56	139	7	50 ～

		10	を使用していて声が聞こえず、木枠の裏側で押さえていた被災者の右手まで巻き込んでしまい、受傷したものである。					99
2017	6	16～ 17	ボイラー前、幅770mmの歩廊上で、作業場確保の為、銅管を運搬移動中、ボイラー前の開口落下防止用単管パイプに足を引っ掛けて滑落した。その際、右臼蓋部骨折、右膝・右足首靭帯、右手外側を損傷した。	48	414	1	～	300 499
2017	6	14～ 15	個人宅新築工事現場にて建方作業中、休憩前の清掃のため、1階の天井パネル上から右手にインパクトドライバーを持ち、足場の昇降階段を下りている際に、足場の建地のクサビ部分（つめ）に、右手の甲を打ちつけ、翌朝、腫れた。	33	411	3	～	10 29
2017	6	9～ 10	重量鉄骨3階建外装工事中に、梁荷受けの建方職方が現場敷地内の土間コンクリートの上で、トラック荷台よりレッカーでG梁6本、3～4mを仮置き後、縛られたナイロンスリングを解いたところ、手前の梁が1本、右足に倒れて人差し指と中指を裂傷骨折した。	38	521	4	1～	9
2017	6	23～ 24	被災者は、夜間工事で道路排水管理設工事において、ガードレールを復旧させていた。ガードレールは、コンクリート製の支柱～支柱の間が金属製手摺パイプ（L=2.5m、φ=50mm）で繋がっている形式で、排水管理設作業のためコンクリート製の支柱を一時的に撤去していたため、作業終了後に支柱を復旧しようとしていた。復旧しようとした支柱Aの手摺パイプ穴に手摺パイプを差し込んだ状態で、支柱Aをユニックで吊り上げ、被災者が相手側の支柱Bの前で待機し、支柱Aと共に吊り上げられた手摺パイプの端部を持って、支柱Bのパイプ穴へ誘導していたが、パイプの小口に指が残ったままの状態、吊っていた荷（支柱A（重さ約300kg））が振れたため、支柱Bの穴に指が挟まれてしまい負傷した。被災者は、ヘルメット・ゴム手袋・安全長靴を着用していた。	26	212	7	1～	9
2017	6	15～	会社（本社）の倉庫内で道具を探している際に、地下へ続く階段でバランスを崩し、階段床に右手指をつき、右手薬指第1関節付近を骨	24	413	2	～	50

		16	折した。					99
2017	6	13～ 14	重機旋回中、振れ止めが単管パイプと接触しそうになった為、手を添えて振れ止めを動かそうとしたところ、単管パイプと振れ止めの間に右手小指を挟み被災した。翌日より軽作業を行っていたが、その後、患部が悪化した。	19	143		7	1～ 9
2017	6	10～ 11	建築工事現場にて、室内ロフト部分への火災報知器取り付け作業中、ロフトへ立て掛けた脚立より降りる途中で体のバランスを崩し、更に脚立の脚が滑った際に、脚立より転落した。	40	371		1	1～ 9
2017	6	7～8	25階エレベーターホール付室にて、重量105kgの給気ガラリ本体を取り外す作業を単独で行った際、しゃがんだ状態で本体下部をこじ出したところ、本体上部から倒れて来て、支えきれず避けようとしたが足元が残り、本体と床に右足首が挟まれて被災した。	28	612		5	1～ 9
2017	6	13～ 14	軽量鉄骨解体工事の現場で、基礎が深いのでよじ登り、飛び越えて立ち上がった時、杭に付いているボルトの鉄の破片に引っ掛かり損傷した。	28	418		8	1～ 9
2017	6	14～ 15	新築工事にて、擁壁の捨てコン打設作業中、不足の生コンを会社に無線で連絡し、車から降りる際、旋回した重機の後方と車のドアの間に身体が挟まれ、腰・臀部・太ももを打撲し負傷したものである。	38	142		6	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	共同住宅新築工事の基礎工事にて、立ち上り型枠を立て込むためのセパレーターをベースコンクリートに、手打ちコンクリート釘にて固定を行った際、打ち損じた釘が跳ね返り、左目眼球に刺さった。その時、保護メガネはヘルメットの上であり、使用されていなかった。	27	364		3	1～ 9
2017	6	14～ 15	勾配天井の断熱入れの作業中、天井と脚立の間で無理な体勢で作業した為、バランスを崩し床へ尻もちをつく様に落下した。	40	371		1	1～ 9
			店舗新築に伴う建築工事（大型自動車棟）の作業が進んでいた。型					

2017	6	15～ 16	<p>枠材の片付作業中、長さ45mm・直径3mmの釘を誤って踏んでしまい、左足親指の付け根に刺さり刺創した（全治1週間）。普段より、安全靴を履いて作業するよう会社は本人に指導しており、被災時、本人は作業靴を履いていたが、片付け作業の最中、足元に注意を払っていなかったのが負傷した原因である。</p>	23	521	9	1～ 9
2017	6	14～ 15	<p>自社資材置場にて、草刈作業中に虫に刺されたと思われる。自宅に帰ってから痒みが出て、就寝時には患部が熱く赤く腫れていた。</p>	38	911	90	1～ 9
2017	6	9～ 10	<p>新築工事現場において、動線上に天板が放置されていたため、災害・事故防止のため即時に社員と2名で天板を移動しようと運んでいる際、腰を捻りヘルニアを発生した。</p>	63	921	19	30 ～ 49
2017	6	15～ 16	<p>杭打作業中、ロッドを引き抜き、杭打機旋回中に、他のヘッドに接触しそうになったので、ロッドを手で押しに行ったところ、ロッドとヘッドに挟まれた。</p>	49	143	7	10 ～ 29
2017	6	16～ 17	<p>新築工事現場において、型枠工事に使用するFRPパネルを2階から3階へ移動するため、2階から上げられたパネルを3階で受け取りつて床に置く作業中、最後のパネル（約12枚目）を引き上げた際、力が入り過ぎて左手を捻ってしまい、負傷した。</p>	46	921	19	1～ 9
2017	6	15～ 16	<p>資材置場での材料整理時に、足元の悪い場所で材料を受け取った際にバランスを崩し、右足を挫いて、右足踝にひびが入った。</p>	19	521	19	10 ～ 29
2017	6	17～ 18	<p>会社の資材置場で杭を整理している時、地面に置いてある杭に躓き転倒して、前腕部を鉄材に打ちつけ打撲し、右腕部を骨折した。</p>	36	419	2	1～ 9
2017	6	10～ 11	<p>鉄骨造3階建て建設工事現場で、外壁仮設足場組立中に、リン木上に仮置きしていた足場支柱材を運ぶ際、右足を支柱材散乱防止の為にあてがい、結束バンドを切断したところ散乱し、右足が支柱材の下敷きになった。</p>	20	521	4	1～ 9
		11～	<p>C棟南側で、被災者がモルタルホッパーの掃除をしている時に、開け</p>				10

2017	6	12	て固定していた網の蓋が閉まり、ホッパーの縁に添えていた左手を挟み、人差し指を切創し、骨折した。	68	379	4	～ 29
2017	6	11～ 12	自社倉庫内で、棚等の取付作業中に、脚立の上（高さ1.5m位）からバランスを崩して落下した際、右側腰等を打撲した。	26	413	1	1～ 9
2017	6	17～ 18	終業後の片付中、手には何も持っていない状態で現場内の敷鉄板上を歩行していたところ、敷鉄板の段差約7mmで足を躓き、1.5m前の鉄板段差約22mm部分で左膝を強打した。その場でうずくまっているところをすぐ周囲にいた同僚に発見された。	49	521	2	—
2017	6	14～ 15	約2.5mの高さに張った養生シートに載っていたコンクリート片を、梯子に登り除去した後、降りようとした時、約1mのところまで足を踏み外し、梯子から転落した。その際、地面に右手を強く着き負傷した。	62	418	1	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	倉庫内天井クレーン撤去工事で、クレーン用電気配線を外した時、絶縁体の碍子がぶら下がり、下で作業していた被災者の顔に当たり、右目まぶた等を負傷した。	62	219	4	1～ 9
2017	6	15～ 16	外構ごみ置き場の外壁タイル吹付下地の補修作業中、立馬（H＝1500）を使用し、外壁吹付下地の補修作業を行っていた際、移動時に足を踏み外し、右足の踵から転落した。（立馬の手摺を取り付けていなかった。）	67	371	1	1～ 9
2017	6	16～ 17	店舗にて、足場の上で作業をしていた元請会社作業員が、誤って木柱（6cm角×2.5mの木材）を直下に垂直に地面に落とし、その木材が、ダンプに廃材を積み込作業中の下請会社の労働者側に倒れ、ヘルメットと右手の甲に当たり負傷した。	54	522	6	50 ～ 99
2017	6	8～9	2階のスラブ貼り作業にて、仮置きしたベニヤ板を釘で留める際に、バタ角の上のベニヤ板に上がったと同時にベニヤごと滑り、1階土間へ横向きに落下した。	63	412	1	30 ～ 49
		18～	新築工事（元請工事）にて使用する材料（木材）を自社工場内で自				1～

2017	6	19	動手押しカンナを使用して加工中、右手が回転する刃の部分に当たり、右手指3本を負傷した。すぐに救急車で病院へ搬送された。	45	133	8	9
2017	6	12～ 13	当社中間処分場にて、バックフォアのZフォークを取り換え作業中、取り外したZフォークに手を当て立ち上がろうとした時、Zフォークが全開していなかったため、被災者の体重が掛かってZフォークが開き、右手示指・中指・薬指の第一関節先端部が挟まれ被災した。	80	229	7	30～ 49
2017	6	7～8	現場へ2tダンプで行く途中、雨が降って地面が濡れていたためか、緩いカーブでブレーキを掛けた時、反対側の歩道の縁石にぶつかり、その勢いでハンドルを切り、逆側の石垣にぶつかり止まった車は破損し、運転手が首から肩にかけ負傷した。	38	221	17	1～ 9
2017	6	16～ 17	安全帯をつけ、サイロの中のセメントの残量を確認するためタラップに登っている時、安全帯のフックを引っ掛けようとしたところ、雨が強くて手が滑り、バランスを崩して転落し負傷した。	34	391	1	100～ 299
2017	6	10～ 11	敷地西側資材搬入場所にて、15tトラックの荷台上で、鉄骨リン木用山留材の荷下ろし作業中、山留材（H=400×400×13×21、L=1.5m 258kg）をタワークレーンにて吊り上げる準備をして、玉掛けワイヤーを作業しやすい高さにしようとするために、少し巻き上げるように合図者がタワークレーンへ無線で巻き上げを指示した時、玉掛けワイヤーの圧縮止め部が、山留材上端のフランジ部に引っ掛かり、材料が浮き上がり外れた反動でずれ落ち、山留材が被災者の右足の甲に当たり、負傷した。	25	211	4	1～ 9
2017	6	11～ 12	地中梁コンクリート打設中、鉄筋を洗いに行くため左手にバケツブラシを持ち、右手は仮囲い水平材を持ち、型枠サポートを跨ぎ渡った際に足が滑り、転倒して腰の辺りを強打した。	64	417	2	1～ 9
2017	6	17～ 18	勾配天井作業にて、同じ姿勢で天井の下地組及び天井プラスターボード貼り付け工事作業を行った後、右首に痛みが発生、頸椎捻挫状態と診断された。	20	911	19	100～ 299
			新築工事現場において、木製パレットをユニック車のクレーンを				

2017	6	9~10	使って積み込んだ後に、被災者が荷台上にてワイヤーの玉外し（補助）作業を行っていた際、腰を下ろした時に、お尻が荷台のアオリに接触し、バランスを崩して荷台から地面に墜落した。	73	212	1	30 ~ 49
2017	6	11~12	当日現場作業がなかった為、加工場を借りて、今後現場で使用すると思われる木製の作業台を製作していた。使用していた釘打ち機で、重ね合う木材の位置を誤り、裏に添えていた左中指に釘を刺してしまった。	21	169	8	10 ~ 29
2017	6	1~2	会社の倉庫で角パイプ（20kg）を移動中、誤って左足甲に落とし、打撲負傷した。	35	521	4	1~ 9
2017	6	16~17	炎天下中、もともとあった拝所を同じ敷地内に移動し、拝所を囲う枠を作っている際に、急に気分が悪くなり嘔吐し、水分補給をしながら休憩をし、引き続き作業を継続した。その後、体調が良ならず、熱中症と診断された。	16	715	11	10 ~ 29
2017	7	9~10	高所作業車を、ロングスパンエレベーター内より、移動する際、ロングスパンエレベーター枠と高所作業車の高さに余裕が無かったため、しゃがんだ状態で高所作業車の手摺に手を掛けてコントロール部レバーを操作していたため、ロングスパンエレベーター枠上部との間に右手人差し指を挟み被災した。	32	239	7	1~ 9
2017	7	7~8	鉄骨造2階建て事務所棟建設工事現場で基礎コンクリート打設前の型枠の修正作業中、地山から型枠へ乗り移る際に土留用単管に腰袋が引っ掛かり、足を踏み外し、前のめりの体勢になったまま型枠から突出した木材に腹部を強打した。	68	522	3	1~ 9
2017	7	16~17	農産物加工施設新築現場にて、脚立に昇り高さ1.2mの所でサッシ枠にモルタルを充填する作業を行った。作業が終了し、建物の梁に架けた安全帯を外そうとしたところ、梁にフックが引っ掛かったので、ロープを強く引いたらフックが急に外れ顔に飛んで来て左まぶた上に当たり負傷した。	61	379	6	10 ~ 29

2017	7	11~12	アパートの横の階段で裏側のサビ取りで、デスクサンダーを掛けていたら鉄サビが弾けて目に入った。保護メガネはしていた。	45	153	4	10 ~ 29
2017	7	9~10	トラックの荷台上で荷付けの作業中、事業主がユンボで資材をトラックへ積み込もうとしたところ、資材に当たらないよう体を避けたためバランスを崩しとっさに地上に飛び降りた際、左足の踵を負傷したもの。	62	221	3	1~ 9
2017	7	8~9	資材センターにおいて、資材倉庫の屋根のスレートが?れてしまった部分を補修するにあたり、補修工事前の写真を撮るため屋根に上がった際、誤って下地の無い部分を踏み抜いてしまい、5.4m下のコンクリート土間に落下し、腰部を強打した。	45	415	1	50 ~ 99
2017	7	8~9	当社置き場において加工前の在庫であるベニヤ板（600×1800×2）の移動作業中、平積みされていたベニヤ板約100枚（高さ約1.3m）の上でバランスを崩し、足を踏み外し左足を平積みのベニヤ板とベニヤ板の隙間に落とし受傷した。	23	522	2	1~ 9
2017	7	15~16	店内客席フロアにて、お盆に乗せた土鍋料理を提供する際、お盆のバランスを崩し、料理が足にかかり負傷した。	51	372	7	1~ 9
2017	7	11~12	被災者は、内装材の荷揚げ作業をしていた。トラックより1階、階段前に仮置きした断熱内壁枠（600×2500mm）を仮置き場所が狭いため、角度調整で直していた時にバランスを崩し倒れかかってきた枠を押さえて、枠の角を鎖骨部にあててしまい被災した。	29	521	19	1~ 9
2017	7	14~15	現場で資材差し上げのため足場から下の階へ降りようと足場の手すりを握った際に、中指を脱臼してしまう。（変なにぎり方をしたため、それが原因で脱臼となる）	28	411	19	1~ 9
2017	7	10~11	テナント内装の天井工事中、天井吊ボルトを取付中、入りが悪かったところ、吊ボルトが外れ、バランスを崩した状態で飛び降りて着地の際、床に手をつき手首を骨折した。	45	371	1	—

2017	7	16~17	現場内建物外周部東側を巡回中、敷鉄板端部に左足が引っ掛かり、左足首を捻った。	50	417	19	~ 299	100
2017	7	15~16	校舎2F南側窓アルミサッシ戸車交換及び外れ止め交換作業を行っていた際、腰に装着していた安全帯を使用せず作業していたため、足を滑らせ、足場上から転落。1階の窓ガラスを蹴り割り、足を負傷する。	21	411	1	1~ 9	
2017	7	10~11	工場内材料置場のスレート屋根雨漏り修繕工事の作業。工事場所への通路は鉄板屋根の上を歩き、内樋の金物を掴み小波鉄板へ上る経路であった。作業については内樋の中での作業完了、午前休憩（約30分）後に先に被災者が現場に向かう途中に、スレート屋根から転落した（ノーヘルメット）転落場所へはスレート屋根伝いでないと不可能である。	44	415	1	1~ 9	
2017	7	16~17	足場解体時に11段目（建物8F）から手すり部材が落下して落下防止棚（朝顔材）にあたり搬出のトラックにあたり、下でトラックに積み込み作業をしていた被災者の右腰あたりに接触して負傷した。	23	411	4	10 ~ 29	
2017	7	9~10	被災者は屋上パラペット部の鉄筋組立作業において、材料を受け取るため、勾配屋根スラブ上を移動中、頭上の安全帯取付設備（単管）に頭部をぶつけ、負傷した。	42	391	3	10 ~ 29	
2017	7	16~17	同業である協力会社へ貸与した足場仮設を回収し、資材置き場にて2tトラックより積み下ろし中に、雨で資材や荷台が濡れていたため、荷台から滑りとっさに左足で着地した際にかかとを骨折したものの。	35	221	1	1~ 9	
2017	7	9~10	基礎部X5-Y7、Y1-Y2間の捨てコンクリートの上で地中梁（小梁）の上筋D25L10.5m41.8kgを被災者を含め4名で配筋中、被災者と他の作業員1名とでD25の鉄筋を大梁の上に持ち上げた際、右肩に力がかかり右肩の腱を痛めた。	60	521	19	30 ~ 49	
			大規模改造工事にて、学校関係者専用駐車場を2日間の予定で南側グ					

2017	7	10~11	ラウンドに設置をする作業で、敷板鉄板6m×1.5m×厚み22mmを昨日の続きで敷き詰める作業にて、手前から順番に敷いて左側21枚目の鉄板が隙間調整で鉄板の片隅にフックを掛けて5cmほど上げた、下に敷いたブルーシートが中にずれたので、とっさに、ブルーシートに手を伸ばした時フックが外れ、右手の甲に落ちて負傷した。	66	372	4	1~ 9
2017	7	9~10	作業機材を1階へ下ろす際に、足場上でバランスを崩し、足場板の間に足が挟まり、慌てて足を抜く時に足首の辺りに痛みを感じた。	44	411	7	1~ 9
2017	7	11~12	会社の敷地内でダンプカーの荷台に上がる際、左足をステップ（地面より約60cmの高さ）に置き、右足を荷台（地面より約1.2mの高さ）の中に入れて上がろうとし、荷台の上に立て掛けてあった鉄板10枚（縦0.9m×横1.8m×厚さ5mm・1枚あたりの重さ約70kg）の上部に手を掛けたところ、鉄板10枚が倒れ、鉄板と荷台のあおり（側壁）に右足の下腿を挟まれ、骨折した。	66	521	5	1~ 9
2017	7	13~14	H鋼を土場で積み終え確認をする作業中、H鋼の上から降りようとした際に足が滑り、約1mの高さから転落した。床に右半身を打ちつけ負傷した。その日は作業を続けたが、痛みが引かなかった。	54	221	1	10 ~ 29
2017	7	9~10	作業現場にて地上高さ5mのスレート屋根上の作業用通路で、切断したフックボルトの清掃作業中、誤ってスレート屋根を踏み、屋根が抜けて、3m下の作業用器具の上に落下し、そのはずみで更に2m下のコンクリート地面に転落して負傷した。	73	415	1	1~ 9
2017	7	9~10	建設現場において、セラー室内タンク並びに配管撤去工事を2人で作業中、鉄骨H鋼のボルトを外し玉掛作業終了後、1人が工場床面に立ちクレーンで鉄骨を吊り上げたところ、鉄骨が固着していたため、クレーンインキングで鉄骨を揺すりながら取り外そうとした際、もう1人はセラー室タンク上部吊り荷の近くにいたため、鉄骨H鋼と取り付け鉄板の間で左手示指指先（手袋着用）を挟み、負傷した。	44	418	7	1~ 9
			4階躯体スラブ上で、4階型枠建込作業のため4尺脚立の2段目に乗っていたが、脚立の足元付近に墨出し用穴が、あったため脚立の足が				10

2017	7	14~15	穴にはまり、バランスを崩し左足よりスラブ上へ着地した際に被災した。	39	371	1	~ 29
2017	7	16~17	上記現場において、バールで板を外そうとした際に板が外れた勢いで下の階段内に落下し、頭や首など全身を強打したもの。	33	416	1	1~ 9
2017	7	9~10	工事現場で、掘削スクリー引き上げ時、小ワイヤーがスクリーに巻き付き破断し、そのフックが落下した。その際、下でスクリーの泥落とし作業中の被災者のスコップを持つ、左腕に当たり負傷した。	63	142	4	1~ 9
2017	7	15~16	解体工事現場にて重機オペレーターが0.4フォークで木材（9cm角長さ3m）の積込作業をしていたところ、木材が半分に折れ、近くにいた手元作業員の背中に当たり、肋骨を1本骨折した。	56	142	4	10 ~ 29
2017	7	11~12	6階に鋼製建具扉8枚を搬入し、EVホールRC手摺に立て掛け仮置きをしていた。他の作業に支障が出るので、移動しようとしたが、1枚を動かそうとした時に、扉を縦置きしていたため、8枚同時に倒れ下敷きになった。（鋼製建具重量約32kg×8枚=256kg）	20	611	5	1~ 9
2017	7	14~15	養生架台2枚を解体中、連結していた2枚の養生架台を切り離した際に固定されていない養生架台に移動したため天秤状態になり、養生架台から墜落した。	52	216	1	1~ 9
2017	7	9~10	冷蔵倉庫増築工事で、床鉄筋を鉄筋上を歩いて手運搬中、鉄筋に足を突っ込みバランスを崩し安全靴が脱げてしまった。左足が裸足になった状態で倒れ込み、着地した場所に、機械式ラック設置用に配置されたアンカーボルト（径9mm、高さ105mm）があり、それを踏み抜いた。	39	521	9	50 ~ 99
2017	7	16~17	新築工事現場に於いて1階エレベーターピットの壁をピット内から高さ天板迄7段の脚立を利用して取り合い部分のカッター切後ハツリ作業を始めた直後、3段目か4段目から何らかの原因で転落し、その際に左後頭部及び右目の周りを打ち付け負傷。ピット内に少量の水溜	55	371	1	1~ 9

			まりが有り、濡れた靴底で脚立を使用し、作業の体勢をくずし、滑って身体のみ転落したと思われる。（脚立は倒れていない）				
2017	7	11~12	3F床コンパネ張り作業中に不注意に足を踏みはずし、根太と根太の間（約400）から2F床（コンパネ下地）に墜落し腰・背中付近を強打した。ヘルメットは、かぶっており、親綱は張ってあったが安全帯は掛けていなかった。	44	416	1	1~ 9
2017	7	16~17	屋上RFシンダーcon打設及び仕上げ中午後から打設作業を行い、仕上げ作業があるため休憩がとれず午後からも打設作業、仕上げ作業を同時進行で行った。夕方3名に熱中症の症状が出たため、病院に搬送した。その後残った人員で作業続行したが、その後1名嘔吐し熱中症の症状が出た。さらに被災者がけいれんし倒れたため、作業員などで1階に降ろし、病院に救急搬送した。	45	715	11	1~ 9
2017	7	15~16	耐火壁のPB貼時に天井高上り上部を立ち馬で施工中に間仕切壁と立ち馬の間隔が開き過ぎていたため、PBを間仕切壁下地へ預ける時に、立ち馬がぐらつきバランスを失って高さ1.8mの高さから転落した。	23	371	1	1~ 9
2017	7	10~11	社宅リフォーム工事に使用する資材（約100kg）を、自社倉庫に於いて、つり上げた時に、資材がバランスを崩して、左手の上に落下し、骨折した。	34	211	4	1~ 9
2017	7	11~12	新築工事現場において、型枠解体材をロングエレベーターにて搬出中、ロングエレベーターから荷降しをする際積み込んだ型枠材の上にあがってEVゲートを降ろそうとしたところ、ゲートのすき間に型枠材が挟まりその衝撃で型枠材が割れてその反動でバランスを崩し、型枠材の上から転落したもの。（高さ約1m70cm）	35	214	1	1~ 9
2017	7	8~9	工事現場で、2階II工区の柱主筋圧接作業のため、床に置いてある柱主筋材のサンダー掛けをしようとしたところ、型枠材1枚が鉄筋にかぶさっていたので、それを取り除こうとした時、足元にあったHOOP筋につまずいて転倒し、左足を負傷した。	56	521	2	10 ~ 29

2017	7	16~17	組み立て場所の敷鉄板の上で、クローラクレーンの組み立て中、ブームをタワーキャップの下部ピンの取り付けのため、メインブームを60tクレーンで吊り、ピン穴の位置調整をしていて、ピン穴が行き過ぎたので、元に戻そうと60tクレーンを巻下げたがタワーキャップが動かずメインブーム内に入りタワーキャップを角材で突いた時、急にメインブームが下がり腰を強打した。	35	212	6	1~ 9
2017	7	9~10	外部足場上で安全帯が右足首に引っ掛かり、足首を捻ったまま倒れ、全体重が右足に掛かった状態になり、右足首を骨折した。	50	411	2	1~ 9
2017	7	12~13	足場上部からパラペットに飛び移った際、転倒した。	63	418	3	30 ~ 49
2017	7	10~11	デイサービスセンター新築工事現場にて、屋外（屋根なし）で木造平屋家屋の組み立て作業を行っている時に、めまい、吐き気、耳鳴り等を発症した。	62	715	11	1~ 9
2017	7	17~18	自社工場内で、組立作業中ホイストで鋼材を吊り上げ、組立台に乗せようとして、足に落とした。	58	211	4	10 ~ 29
2017	7	10~11	既存建物（12号棟）除去に伴う仮設養生足場6層目（H=10.5m）付近で、足場の資材を地上面に荷降ろす作業を実施していたところ、枠組足場に固定したブラケットと滑車が、荷下ろしする足場資材の重量に耐えきれず傾いた。被災者は、落下を防止しようと咄嗟に荷下ろしロープを握ったが、支えきれずに墜落した。	35	411	1	1~ 9
2017	7	16~17	外壁下地作業中、外部足場から内部作業場へ移動するため、内部にある脚立（1.8m）に足を掛けた際、（脚立の天板上）バランスを崩し、転倒、足場及び地面で膝上、肩回り首を打ち、顔の右側を負傷した。	67	371	1	1~ 9
			震災復旧現場で、ガラス施工のため、足場（GL+4000付近）を歩行				1~

2017	7	13~14	中に、足場布板600mmから300mmに絞った隙間から転落し、強打した。	22	411	1	9
2017	7	13~14	選果場の現場で壁パネル貼り作業中、屋根から壁パネルを作業員が手渡しで降ろす作業をしている。屋根上の作業員が足場上の被災者へ渡す時に作業員の手が滑り、被災者はうまく受け取れず負傷した。	25	529	4	10 ~ 29
2017	7	10~11	建物内部でコンクリートの壁をエアカッターでカットする作業中、後ろに気配を感じて振り向いた際、誤ってエアカッターのハンドルから右手が離れ、左手だけでエアカッターを支える状態となった。このとき、エアカッターの刃が右手首に当たり、受傷した。	38	379	8	1~ 9
2017	7	11~12	工事現場にて作業中、エア釘打ち機を取る際、ホースが引っかかり、エアガンが手元から離れ、再度キャッチする時に誤ってヒザに釘を打ってしまった。	62	139	8	1~ 9
2017	7	11~12	新築工事現場で、基礎型枠組立作業中に、基礎梁筋上に置いてあったサン木（12尺×10本）の束を下ろそうとして、建て込んだ型枠に添えていた自分の左手首に、当該サン木の束が落下して、負傷した。	56	412	7	30 ~ 49
2017	7	10~11	4階デッキスラブ上で床スリーブ取付を行う作業において、デッキプレートの波型に合わせてボイド管を床に置き、ベビーサンダーを使用して加工していた際、デッキ床面がぬれていたこともあり、押さえていた左手のスリーブがすべり、サンダーの刃が左手人差し指に当たり、切創した。（原因）短いボイド管を手を持ち、サンダーを使用してボイド管を加工したこと。波型のデッキプレート上という不安定な場所で作業を行ったこと。	42	159	8	10 ~ 29
2017	7	10~11	ビデ足場の垂直梯子を昇降中、低血糖により目眩がして1~2段目より地面に落下し左肩を受傷した。受傷当日受診した結果、左肩脱臼の診断により処置を受けた。業務に復帰し、定期的に通院していたが、痛みが治まらず、あらためてMRI検査を受けた結果、左肩外傷	65	411	1	1~ 9

			性腱板断裂の診断となった。				
2017	7	11～ 12	足元にあった合板（ベニヤ板）の段差につまずき、左足をくじいた。	56	522	19	30 ～ 49
2017	7	16～ 17	基礎型枠建込作業中、地中梁上から型枠材を引き上げて移動しようとした際、バランスを崩して掘削底に約2m転落し、ベース型枠に足を打ちつけ負傷した。	61	418	1	1～ 9
2017	7	14～ 15	2階ベランダ笠木を施工している際、ベランダ方立と笠木を釘打ち機にて留め付けを行おうとしたときに、部材持ち手である左手親指を誤射した。	25	364	4	1～ 9
2017	7	9～ 10	現場にて足場材片付け中、解体コンクリート塊が、約9mの高さから落下し、片付け中の作業員の頭上・肩に当たり、ヘルメットを着用していたが頭部・肩を負傷した。	23	523	4	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	工事現場において、外構工事作業中、ダンプから降ろすためにセメントを持ち上げたところ、袋が他の荷物に引っかかっていたため、重量がかかり腰に激痛がはしった。	40	611	19	1～ 9
2017	7	8～9	鉄骨造3階建て保育園増築工事で、GL+7200（作業床）まで外部足場の昇降階段を登って鉄骨塗装作業を開始直後に、足場上に墜落した。	19	411	1	1～ 9
2017	7	9～ 10	木杭（φ25×?1.6m）を平コンテナに収納する作業をしていた。サイズが大きめだったため、重機オペレーターが重機で木杭をつまむことになり、被災者は、重機オペレーターがつまみやすいように、木杭を縦向きにして立てて支えていた。重機オペレーターが木杭の上のほうを重機でつまんだ際、木杭が動き、被災者の左内股に当たり、被災者が倒れ、自分のヒジが肋骨に当たった。	55	145	6	1～ 9
2017	7	9～	自社資材センター内において、ストックヤードに2t車の荷台から積荷（足場資材）を荷下ろし作業中に、籠パレットの上からバランス	35	379	3	10 ～

		10	を崩し、転倒しかけて着地した際、全体重が左足にかかり、左膝の半月板を損傷した。					29
2017	7	10～ 11	木造2階建て住宅棟建設工事現場で、トラックから材料を降ろし、2人で梁を搬入作業中に、2人のタイミングが狂い、梁を支えようとした際に、吊木受け金物で右手の手の平に刺創を負った。	18	419	6		10 ～ 29
2017	7	16～ 17	自社作業場にて、サンダー工具を直径50mmのビニール管を使い点検操作時、刃が引っ掛かりはねた際、左手首に当たり切傷したものである。	66	159	8		—
2017	7	16～ 17	フェンスのコンクリート基礎解体時、側歩道から1m程離れ、ガードフェンスでL型に囲われた場所で、重機オペレーターと合図者による解体作業中、ユンボのクラッシャーが合図者の右足に接触し、土間とクラッシャーの間に合図者の右足が挟まれた。またオペレーターが挟まれた状態を回避しようとブームを上げた際、クラッシャー爪部に体が引っ掛かり、合図者が転倒し、基礎コンクリートの破砕面に左頬をぶつけて裂傷を負った。	62	145	7		10 ～ 29
2017	7	14～ 15	4階建て事務所ビルの解体工事中、3階スラブ上にて作業をしていたところ、解体ガラを下階に投下するための駄目穴（30cm×30cm）に右足を落としてしまい、バランスを崩した際に右腕を強打し、右肘内側の靭帯を損傷した。	34	418	2		1～ 9
2017	7	13～ 14	大学研究管理棟4号棟の西面外部1階フロア部において、養生作業の事前確認のため、トップライト部を見回っていた。足場最下部にてトップライト周りを歩行中、作業床の確認のためトップライトの上に乗ったところ、トップライトが割れ、下のガラスも割れて下1階フロアまで墜落した（高さ約5m）。	24	415	1		30 ～ 49
2017	7	16～ 17	当日の作業終了後、解体工事現場脇の通路を駐車場に向かうため移動中、通路の右に置いてあったトンパックの荷吊り用帯紐に右足を引掛けてしまい転倒し、負傷した。	60	417	2		30 ～ 49
			基礎外周で外部型枠解体後、地上に上がる際に昇降設備を使用せず					10

2017	7	14~ 15	外部足場をよじ登り、高さ1.8mから足を滑らせ右足から地面に着地し、右足踵を負傷した。	38	411	1	~ 29
2017	7	2~3	倉庫の屋根の作業していたところ、屋根のストレージが割れて落下し、右腕・右脇腹を打ちつけ受傷した（骨折）。	46	415	1	1~ 9
2017	7	11~ 12	内装解体中、天井に張り巡らされた冷暖房用の鉄管を大型サンダーでカットしていたところ、丁度、下部にタイルが貼られていて、その上に脚立を立てて作業中にバランスを崩し、脚立が倒れ、転落し負傷した。	66	371	1	1~ 9
2017	7	13~ 14	被災者は、同僚と4名で、1階立上りの型枠組立を行っていた。被災者が、サポートに立てる準備をして、クレーンで吊った梁型枠が柱型枠に納まるのを待っているとき、梁側の角パイプが柱型枠に当たって、梁型枠が納まらなかったため、壁型枠をよじ登って壁型枠の上から吊った梁型枠の角パイプをハンマーで叩いて、位置調整をした。その後、バランスを崩して約3.85m下の地面に墜落した。	38	412	1	1~ 9
2017	7	11~ 12	サイロ解体作業中、電線が仕事の邪魔になるため梯子にて撤去し、下りるときに足を踏み外して落下した。その際、地面がアスファルトの土間のため、頭を打ち骨折した。	64	371	1	10 ~ 29
2017	7	13~ 14	工場内で機械の切断時に、鉄骨材（アングル）を鋸刃（バンドソー）機で切断中、重ねた材料が振動で跳ね上がり、切断した材料と鋸刃機で手を挟んだ。	59	159	7	30 ~ 49
2017	7	15~ 16	住宅解体現場にて、2階部分を解体中に出た角材（2m位、重さ20kg~30kg）をダンプに積込み作業中、足の踏み場が悪かったため、変な姿勢で角材を持ち上げたときに、腰に強い痛みが出た。そのまま少し様子を見ながら休みをとるなどして仕事を続けたが、歩行困難になり、病院を受診した結果、椎間板ヘルニアと診断された。	33	416	19	~ 29
2017	7	8~9	作業所で木工切断中、電動のこぎりの安全カバーをはね上げて作業をしたため、軍手の先端が巻き込まれ負傷した。	38	131	7	1~ 9

2017	7	11~ 12	新築工事現場にて、外部足場の上で折板を伏せる作業中、足場板があったため移動しようと、梁に足を掛けようとして踏み外し、3.4m下の土間碎石に落下した。他に作業員が2人おり、落下の瞬間を直接は見ていなかったが、梁に掴まり落ちるところを見た。原因は、足場上の作業にもかかわらず、安全帯未着用であったこと、梁下に水平ネットがなかったこと、高齢者を高所作業に従事させる等安全対策への意識不足にある。	69	414	1	1~ 9
2017	7	6~7	当社工場にて、車両の乗り替えをしていたとき、大型トラックの運転席に乗ろうとしてバランスを崩し、落ちてしまった。その際、右身体腰ベルトに付けていたデジタルカメラをかばい、地面とカメラの間に手首を挟み骨折した。	44	221	1	10 ~ 29
2017	7	9~ 10	鉄骨造4階建て新築工事の現場で、1階の段ボール作業室にて、床嵩上げコンクリート打設中に、立て掛けていた建具枠が倒れてきて、被災者の腰とふくらはぎに当たった。	46	521	5	100 ~ 299
2017	7	15~ 16	現場1階フロアの壁面解体作業中、壁面の木柱にバールの爪を入れようと力任せにバールを振り回した。その際、頭上右手の天井から突き出ていた鉄柱に、バールの持ち手付近が当たり、右手首が反り返った状態となり負傷した。	39	418	19	1~ 9
2017	7	8~9	2階南側底鉄骨上部の鉄骨梁上で、デッキ受金物の取付作業にかかるべく、被災場所で準備中に、移動のため安全帯の掛け替えを行おうとし、掛け損なって足を踏み外し、4.0m下の地面に落下した。不安全行動としては、安全帯を使用していたが、移動時に不用意に外し、足元もよく確認せず、不安定な姿勢で移動したことが考えられる。	64	418	1	1~ 9
2017	7	15~ 16	保育園改築工事の木造本堂解体作業において、屋根部の垂木をチェーンソーにて切断を行ったと同時に手前に引いたとき、手元がゆるみ、右足の甲を切った。	36	136	8	1~ 9
			工事現場にて、作業員がアーチング器へ降りる際、作業従事時の被				

2017	7	15～ 16	災者の後ろを通過時にお互いの安全帯と工具差しが引っ掛かってしまい、それに気付かずに降りようとしたところ、被災者を押し出し、掘削底へ二人とも転落し負傷した。	25	416	1	1～ 9
2017	7	12～ 13	市道が渋滞していたため、小型自動二輪（125cc）にて車列の左側を直進走行中、突然車列の間隙から対向車が右折して来たので、慌ててブレーキを掛けたところ、スリップしてバランスを崩して転倒し被災した。	55	231	17	1～ 9
2017	7	10～ 11	2Fギャラリーにて、ガラスの取付作業時に足場とギャラリーに隙間があり、そこから何らかの理由で体勢を崩し転落した。	57	418	1	30 ～ 49
2017	7	14～ 15	新築工事において、仮囲いの作業中、杭打機で単管パイプを地面に打ち込んでいたときに傾いてきたため、戻そうと思い機械を止めたが接触不良で止まらず、咄嗟に左手を添えた際に左母指をプレスした。	60	143	7	—
2017	7	15～ 16	2F床上にて脚立を使用しての保温作業を行うときに、脚立から作業場所が離れていたため、身を乗り出して壁下地材に足を掛けた際、脚立が動いてバランスを崩し、安全帯未使用のため、身体の左肩より転落し、左鎖骨骨折、肋骨1本骨折の怪我を負った。転落の際、壁下地材を右手で掴みかけたため、右手薬指を下地材にて切創した。	31	371	1	1～ 9
2017	7	8～9	1階ステージより4tダンプ（深ボディ）にコンクリートガラの積込み作業中、車輛の荷台縁に積込み用のコンテナをのせる際、別のコンテナを踏み台にしていたためバランスを崩し、コンテナが車輛とステージ手摺との間に落下した。その際、落下するコンテナを手放せずと一緒に転倒したため、ダンプのボディに頭部を強打し、瞼の上を裂傷した。	62	416	3	50 ～ 99
2017	7	13～	仮囲いに設置している社旗・安全旗を、地面よりの高さ1.2mの中間地単管上で整備し、降りる際に左足の指が攀ったため、慌てて飛び	52	411	1	10 ～

		14	降りた時に左足踵を負傷した。					29
2017	7	15～ 16	地中梁立ち上がり部に鉄筋キャップを取付作業中、不用な部材を見つけ、取り除こうとして梁上部を横移動し、バランスを崩して背後へ落下した。下部脚立を移動せず作業足場が悪い状態で作業していた。	54	415	1		50 ～ 99
2017	7	11～ 12	パズルパーキングの柱脚部のベースプレート固定用のアンカーボルトの余長部を、ベビーサンダーにて切断中、ベビーサンダーが弾き、作業服のズボンを巻き込み、左足ふくらはぎ外側を約10cm損傷した。	32	153	8		10 ～ 29
2017	7	17～ 18	新築工事中、鉄骨上で屋根葺き下地タイトフレームの墨出し作業をしていたところ、屋根水下の鉄筋上からバランスを崩し、ネットに落ちた。その反動でネットを結んでいたPPロープが切れ、約7m下の既存アスファルト舗装面に墜落した。	41	418	1		1～ 9
2017	7	16～ 17	倉庫鉄筋補強工事のため、工業作業場において、次の日の段取りのためにガスボンベをトラックに載せているときに、手を滑らせてガスボンベとトラックの荷台で右手を挟んで負傷した。	48	611	4		1～ 9
2017	7	16～ 17	資材置場において、サポートの整理作業中、足元に置いてあるサポートに気が付かず、サポートを踏み、そのときに右足を捻って負傷した。	39	417	19		10 ～ 29
2017	7	7～8	現場進入ゲート前で、現場入場の際に地図を見ながら歩いていたため、ゲートあおり防止の下部ワイヤーに気付かず、足が引っ掛かり、転倒して負傷した。	44	419	2		30 ～ 49
2017	7	9～ 10	発電所構内の灰捨場A資材置場において、バーナー弁ラックの荷卸し作業を行っていた。1台目を玉掛け作業で荷卸しし、2台目を荷卸し作業中、隣の3台目の荷が倒れ、この荷より安全帯を取っていた作業員が、引きずれられて荷台上より転落し（高さ1.4m）、負傷した。	47	212	1		30 ～ 49
			建築現場の建築作業の床掘箇所において、均しコンクリート上で墨					

2017	7	16~ 17	出しを行っていた。休憩及び昼休み、そしてそれ以外でも随時水分・塩分補給を行っていたが、気分が悪くなり座って休憩し、そして日陰で体を冷やす処置を行ったが、症状が悪化し病院へ搬送された。被災者は、元々熱中症になり易く、事業主の判断で前月途中から炎天下を避けて屋根付きの加工場で作業させていたが、暑さも若干和らいできていたので、久しぶりに現場へ復帰した初日であったため、体が順応できなかったものと思われる。	59	715	11	1~ 9
2017	7	16~ 17	現場南東部分の外部階段周辺で、作業用の仮設足場の組立作業中に、仮置きしてあった状態の仮設足場資材（鋼製布板）が下方へ落下し、被災者の両肩に直撃した。	15	379	4	1~ 9
2017	7	11~ 12	新築アパート（2階建て4世帯分）の屋根の建て方作業中、母屋・小屋束の木材を配布していた際、足場が不安定な箇所（建て方作業途中の仮置きしている角材部分）に足をのせたため、約3mの高さからアパート2階床に転落し、前胸部・左関節部を打撲し、かつ左足関節を捻挫し負傷した。	24	415	1	10 ~ 29
2017	7	11~ 12	共同住宅新築工事現場内において、4階外部足場より1階までコア抜きマシンの刃を下ろす途中、頭をぶつけて、尻もちをついた。その際、立ち上がる時に腰に痛みを感じた。	52	411	3	1~ 9
2017	7	16~ 17	3階スラブ面から高さ9.9mの場所で、クサビ式足場の組立て作業をしていたとき、手摺部材をジョイントする部分に上手くはめ込めなため、2人掛かりで両端を合せて押し込んだときに、被災者が体勢を崩して下のコンクリートスラブに転落し負傷した。	38	411	1	10 ~ 29
2017	9	13~ 14	受水槽内の壁防水モルタル塗りの作業中、高さ1.0mのウマ上からバランスを崩し後ろ向きに落ち、左腰を土間コンクリートに打った。	71	371	1	1~ 9
2017	9	15~ 16	外壁貼り方施行中に足場を横に移動している時雨の為、足場が濡れていて足を滑らせ建物と足場の隙間より落下した。落下時、右肩より落ちた為左肩の打撲と後頭部を打撲した。	68	411	1	10 ~ 29
							10

2017	9	16～ 17	鉄筋組立工事中、現場に水たまりがあり、すべって転倒（左足が前にすべり右ひざの少し上部分骨接発生）	45	416	2	～ 29
2017	9	10～ 11	事務所新築工事現場にて、電線配線作業中に天井面に仮置きしておいた電線が落下して右脛に当たり負傷した。	59	351	4	1～ 9
2017	9	16～ 17	アルバイトなので二階には上がらないよう指導していたが、まわりの気付かないうちに二階に上がり木材を運んでいた。そしてバックして、転落した。	70	415	1	1～ 9
2017	9	8～9	アスファルト上に設置したコンテナBOX前で、コンクリート殻を一輪車にて運搬しコンテナBOXに入れる作業をしている時、スロープに使用していた足場板に一輪車で通過中、足を右側へ踏み外し右側へ倒れ、右足首を痛めた。	34	417	2	1～ 9
2017	9	9～ 10	バックホウオペレーターが、セーフティレバーを解除せずに前面ガラスを上げた際、オペレーターのポケットに操作レバーが接触、バックホウが急旋回して脇を歩行中の作業員に接触、資材とバケットの間に足がはさまれ、かかと骨を開放骨折した。	70	142	7	10 ～ 29
2017	9	8～9	トラックに材料を積み、コンビニに停車中材料の確認のため、荷台に登ってパイプなどの数を確認している時に、足を踏み外してしまい、パイプなどと一緒に転落、左腕を骨折した。。	21	221	1	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	建築現場にて、コンクリート打設作業を終了後、コンクリート圧送ポンプ車の配管ホースを梯子の上から4段目ぐらいで留まり清掃作業を行った、作業中、突然配管ホースが暴れ、片手でホースを掴みにかかったところ、はじかれ高さ1.8mから落下した。災害の原因は、梯子上で作業してしまったことと、ホース清掃にあたり、十分な給水を怠り、ホース内にエアータまり、不動な動きを引き起こしたものである。	67	371	1	1～ 9
			被災者は、午前中に搬出車輛（4t車）荷台上で型枠材（単管3.5m×50本）1束を積込中、積込位置を調整するため、玉掛者がタ				

2017	9	9～ 10	クレーンに合図を行い揚重したところ、補助員として手伝っていた被災者側へ吊り荷が振れたので、手で荷を押さえたが耐えきれず、荷台上の型枠パネル上かわ（荷台上0.8m）から、後向きの状態で約1.8m下の地面に飛び降りて被災した。（トラック荷台の高さ1.05m）	46	221	1	1～ 9
2017	9	14～ 15	依頼のRC造（コンクリート製）煙突解体工事において、煙突解体中コンクリート破片が右目眼球にあたり負傷した。	76	145	6	1～ 9
2017	9	16～ 17	走行中、前車がブレーキを踏み停止した為、自転車も停止した。その後、後方車両が時速50～60kmの速度で追突してきた。	24	231	17	30 ～ 49
2017	9	11～ 12	2階建鉄骨工事の上棟工事において、4t車から外壁パネルを荷取り作業中、一人で外壁を荷台から受け取ろうと考えた瞬間外壁を道路に降ろそうと考え外壁パネルの下部を両手で持ち、荷台の上の作業員が外壁パネルから手を離れた際、外壁の荷重をささえきれず、とっさに手を離れたものの、右手の中指と薬指を地面と外壁パネルの間にはさまれた。	38	521	7	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	約2メートルの高さの仮囲い上でつなぎの補強をしようとしていたところ足を滑らせて転倒・転落して、斜めのパイプに背中と左脇腹あたりを強打。資材置場でのケガである、資材置場の移転に伴い、仮囲いを設置中に被災した。安全帯は腰に巻いていたが、使用はしていなかった。	39	419	1	1～ 9
2017	9	16～ 17	新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウィンチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようと吊り上げられた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。	44	146	2	1～ 9
			新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室				

2017	9	16～ 17	内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウィンチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようと吊り上げられた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。	53	146	2	1～ 9
2017	9	16～ 17	住宅建築現場において、被災労働者がバルコニー土間枠固定の貫を引き抜こうとしたところ、貫が折れてそのまま700mm高低差のある右後方に倒れ込み、地面に右手をつき負傷した。	39	522	2	1～ 9
2017	9	11～ 12	倒した外壁と残っている腰壁の鉄筋を切断している時に、壁が反動で下がり腰壁に乗せていた左足の安全靴の上に当たり負傷した。	45	522	4	1～ 9
2017	9	10～ 11	被災者が3階廊下のサッシの養生材を剥がそうとし、仮置きで立てかけてあった硝子に手をかけめくった後に、1100mm×2400mmの硝子（1枚約60kg）が9枚（合計約540kg）倒れ右足が挟まれ負傷した。	50	529	5	1～ 9
2017	9	15～ 16	上記日時、2階でウレタンを削る作業中、周囲を確認せず移動した際に足元のユニット開口部に気付かず、開口部から1階天井組まで右肩から落ちた後、天井組から1階床に落下し（2階開口部から1階まで2m50cm程度）、肩と首を打撲、右目まぶたが腫れる怪我を負ったものである。	35	414	1	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	コンクリート打設中に支保工（パイプサポート）に番線が掛かっており、作業の邪魔だったので取り外そうとした際に、番線が跳ね上がり先端が左目に刺さり被災した。	50	521	8	1～ 9
2017	9	8～9	上下にスライドする機構のある横真柱架台を楊重して降す際に、その機構（スライド部分をジャーレジャッキ）の間に、左手親指を入れて挟んだ。上下のスライド機構の隙間に手を入れない事は、安全基本事項であるが、手元確認不足だった、気の緩みもあったと思われる。	67	391	7	1～ 9
			鉄筋コンクリート造地上5階建住宅棟建設現場のB棟3階にて、1階か				

2017	9	11～ 12	らダメ穴を使い材料上げをしていた、3階にいた被災者がダメ穴から下穴を覗き込んだ際、下から上がってきたサポートが左顎に当たってしまった。	27	521	3	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	被災者は一次孔底処理作業のため、泥水置換ポンプを杭孔内に建て込むために、クレーンにて泥水置換ポンプを専用の架台から揚げ荷しようとした際、ポンプを作動させるキャプタイヤのドラムをフリーモードにしたつもりであったが、キャプタイヤが緊張したため、ウインチドラムより引っ張り出そうとした時、ドラムが動かず泥水置換ポンプが動き、専用架台とポンプ保護のFB材の間で指を挟んだものである。	67	391	7	1～ 9
2017	9	11～ 12	現場使用材料を搬出準備中、事業場内の門型クレーンで鋼板を吊り上げたときに、バランスをくずし、荷崩れが起き鋼板が落下、足を挟まれ負傷した。（鋼板550×1000×6）	78	211	4	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	アパートで現場調査をしている時、ハシゴをかついで階段を下りた際、足を踏み外して腰を痛めた。	34	413	1	1～ 9
2017	9	14～ 15	第三貨物地内において、梁の上での水中ポンプ設置作業中、梁をまたごうとした時、ドラム（直径30cm重さ約5kg）が鉄筋に引っかかり落下し、膝を強打する。	30	418	1	10 ～ 29
2017	9	13～ 14	被災者がポンプ車のブームの先端から先の位置でホースを担いで屋上パラペットの型枠内に生コンを流し込んでいた時、生コンポンプ車の、2・3段目のブームを継ぐシリンダーの油圧パイプが破断し、オイルが抜けた事により、支持力がなくなり、屋上スラブから高さ5～6m付近にあった3段目から先のブームが垂れた。ブームが垂れた際に被災者が担いでいた筒先のホースがブーム下に被災者を引きずり込むような形となり、ブームが被災者の背部に当たり、心肺停止となり死亡した。	40	149	6	1～ 9
			基礎地中果で型枠建込み、固め作業中、高さ1.3m程度からハシゴに				10

2017	9	8～9	て降りる際、地足場用建地単管に手を掛けたところ手がすべり体勢を崩した、ハシゴを2段ほど踏み外し転倒、ベースの土留用の単管に腹部があたり負傷した。	65	371	1	～ 29
2017	9	8～9	現場で車庫土間コンクリート打設作業中、擁壁の上から重機で生コンを掬っては入れる作業を繰り返していた時、生コンを入れ終わりオペレーターが重機を旋回しようとしている所に、今までしゃがんで作業をしていた本人が急に立ち上がり、それにびっくりしてオペレーターが重機のレバーに肘がつかえ、バケットが左右に振れ本人に当たり擁壁とバケットに挟まれたものである。	58	141	7	1～ 9
2017	9	10～ 11	大規模修繕工事の現場で、休憩を取るため12階相当足場から、12階廊下へ降りる際、玄関前の床付戸当たり上に着地、左足首を骨折した。	50	413	19	～ 29
2017	9	19～ 20	夜に営業活動している中で、当社顧客様宅へ訪問した際、ご自宅のアプローチの石につまずいて転んだ、その際、右ヒザを痛めた。	51	417	2	50 ～ 99
2017	9	16～ 17	現場駐車場エリアで、汚泥が入ったノッチタンクを25tレッカーで移動（引きずった）させようとして、そのノッチタンクが、別のユンボに接触しようとしたので、間に入ってノッチタンクを止めようとしたが、ユンボのキャタピラとノッチタンクの間で足が挟まり、左足のヒザを骨折した。	37	212	7	50 ～ 99
2017	9	9～ 10	立体駐車場解体のため、立体駐車場下に置いてあるプレハブの職人休憩所を移動する為0.7のバックホーによりワイヤーを引っ掛け吊る作業を行っていた。ワイヤーの玉掛けの4点吊りの吊元支点位置が不良の為吊り荷のバランスが悪く、一カ所が地面に引っ掛かった為、被災者が単管にてプレハブを持ち上げようとした、持ち上げた瞬間に吊り荷自体の荷重が不均等であった為、その勢いでプレハブが被災者の方に移動し、体をかわそうとしたがプレハブの角で足を挟み負傷した。	70	212	7	—

2017	9	13～ 14	防火水槽蓋改修工事の準備の為、元請の駐車場兼資材置場にて、3tダンプの荷台から、マンホールの蓋を降ろそうとした際、下半身が踏ん張りが効かず、バランスを崩し転倒、その際、マンホールの蓋が、左下腹部に落ち、圧迫される形となってしまった。	52	521	2	1～ 9
2017	9	16～ 17	当社工場内で、シャーにて鉄板の切断するため切断寸法を合わせる作業中、誤ってフットスイッチを踏み鉄板ずれ止め部分で挟まれた。（左手第2、第3指）骨折対策としてフットスイッチをシャー台の上に上げ誤って踏まないようにした。	64	156	7	1～ 9
2017	9	10～ 11	倉庫内で、トラックでの作業員、荷台にあるカゴを降ろそうとして、荷台にのぼろうとした時、つかんだつもりの手掛りをつかみそこねて転倒、その時、同時に左手を地面についてしまい、負傷、左手首を骨折したのを気付かずに痛みをがまんしていたが、次の日、骨折と診断された。	52	221	1	—
2017	9	9～ 10	駅地下通路で、エレベーター設置に伴う仮囲い（軒天）を構築作業中、軒天の固定を行う為に天井にビスの穴を削孔しハンマーを振り上げ打設していた時、保護手袋をしていない状態で振り上げた手を軒天に打ちつけ、右手の甲を負傷した。	53	364	7	1～ 9
2017	9	15～ 16	1F荷捌き場から6F作業場所へ既設EVを使用しプラスターボードを運搬する作業をしていた。被災者は6Fに上がってきた台車に乗せられたプラスターボードをEVから引き出し、材料置き場まで運搬する作業を3人の共同作業で行っていた、台車に乗せられたプラスターボードは前方で舵取り（被災者）、後方で他の者が押す作業となっていた、被災者は方向調整する為に後方作業員に声をかけたが止まり切らずに台車のタイヤに左足をふまれ負傷した。	28	362	6	1～ 9
2017	9	13～ 14	外壁改修工事現場で、ダンプ（2t）の荷台の上で、土納袋の入ったガラを積み込み、袋からガラを取り出す作業中、足元の安全な確保が不十分であったため、勢いが余って荷台から転落し、頭部を地面に打ちつけてしまった。	87	221	1	1～ 9

2017	9	15～ 16	児童福祉施設の建築工事現場で建物2階の屋根の長さを足場（地上より8mの高さ）に上がって測っていて方向転換したとき、足をふみはずし4m下の2階のコンクリート床にからだの右側から落下、負傷した。足場板（杉材）30巾4mを4本かけていた、ヘルメットは着用していたが、移動しないといけないので安全帯は着けていなかった。	70	411	1	1～ 9
2017	9	16～ 17	医院クリニックに新築現場にて埋戻しの過程で砕石敷均し作業をしていた所、左旋回してきたコンボのバケットが本人の右側面に激突されてしまい、その反動で倒れた下のアンカーに左側面が接触し負傷した。	66	142	6	30 ～ 49
2017	9	13～ 14	被災者は基礎梁上部にて同僚と玉掛け作業をしていた際、バランスを崩し法面に飛び降りたが足元の土が崩れ法面下に転倒し腰を打った。	61	212	6	10 ～ 29
2017	9	10～ 11	建設地敷地内移動中、基礎部コンクリートより出ている鉄筋（30cm）に足を引っ掛け転倒、右手で体を支え、右手首を骨折した。	38	416	2	10 ～ 29
2017	9	7～8	通勤途中で通勤車に同乗しているときに、高速道路の先の右カーブの接合部分にある鉄製部分でスリップして衝突し、交通事故にあった。	59	231	17	10 ～ 29
2017	9	7～8	通勤途中で通勤車に同乗しているときに、高速道路の先の右カーブの接合部分にある鉄製部分でスリップして衝突し、交通事故にあった。	59	231	17	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	被災者は、2階屋内の梁底枠解体後のベニヤ板に付いてる釘を釘抜機で抜いてる最中に鉄片が右眼に入り負傷した。	39	521	4	30 ～ 49
2017	9	11～ 12	鋼材中部ヤード加工場において、共同住宅新築工事のための鉄筋資材（スターラップ）加工中、鉄筋曲機のストッパーピンを抜き取り角度を変えた後にピンを戻し忘れたことが原因で、右手中指・薬	68	169	7	1～ 9

			指・小指の3本を鉄筋曲機と鉄筋に挟まれ負傷した。				
2017	9	15～ 16	鉄筋コンクリート造3階建ての建築現場にて1階躯体コンクリート打設後、型枠解体工によるベニヤ金物等の解体作業を行う為、小部屋を脚立による作業中、金物を外そうとしたところ転落し、左多発骨折、外傷性血気胸、骨盤骨折、腰椎横突起骨折、左鎖骨骨折した。	70	371	1	30 ～ 49
2017	9	8～9	建設計画の現場で受付棟の横に約100kgの材料を降ろす為に車を止めていた、材料を降ろす際は、車を止めて、車止めをして最後にアウトリガーを出す為、この日は、車を止めて車止めをせずにアウトリガーを先に出した事によって、約8度の傾斜があり車が流れてしまったと考えられる。	50	212	7	10 ～ 29
2017	10	0～1	現場巡回中に屋上の床に躓き足を滑らせて転倒し、左膝を骨折した。	68	417	2	1～ 9
2017	10	10～ 11	当社資材センター内にて大型トラック（クレーン付）を使用し資材の片付け、整理作業中、強風にあおられ体勢を崩し、転落しそうになり、荷台より1.2m下へ飛び降り、右足踵を骨折した。	57	212	3	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	元請現場、宿舎新築工事で壁面タイル貼り作業をするため、ビケ足場の1段目天板（高さ180cm程度）に上がり、立ち上がろうとしたところ、頭が2段目の手摺りにぶつかり、そのまま転倒転落し、頸部を負傷したもの。	69	411	1	1～ 9
2017	10	18～ 19	基礎型枠組立作業中に根伐底で、型枠材の建入れを調整中に、釘止めをしていたパネルを調整する為、一旦釘を抜こうと釘抜きで勢いよく釘を引き抜いた際、抜けた釘(長さ65mm)が飛び、左目に当たる。	22	364	4	10 ～ 29
2017	10	15～ 16	CD棟2階へ北側外部足場から移動し、渡り通路から2階屋上へ移動しようとした際、昇降階段最下段を踏み外し、左足踵から着地した。被災時は、電気が走った程度で痛みがなかった。通常勤務を行っていたが、徐々に痛みが増してきた。	59	371	1	10 ～ 29

2017	10	13～ 14	敷地内にあるコンクリートブロック造りの小屋を解体作業中、最後に残ったブロック壁（長2.5m×高さ2.0m）を解体するため、ブロック壁の最下部を電動ピックにて作業中、ブロック壁全体が作業側側に倒壊、その際に倒壊してきたブロックにより左膝部骨折及び右耳を裂傷した。	27	418	5	1～ 9
2017	10	15～ 16	新築工事における地盤調査の作業をしていた。専用機械の操作中、誤って機械に左手中指を挟み、事故が発生した。	20	142	7	50 ～ 99
2017	10	11～ 12	新築建物工事現場で基礎型枠の脱型作業中、柱脚型枠を脱型する為、掘削部をまたぐ際に体勢を崩し、基礎の差筋（異形鉄筋棒D10）にあごを刺した。当時、台風の過ぎた後で、足元の状態があまり良くなかった。	19	911	8	1～ 9
2017	10	10～ 11	被災者がロッドを繋ぐ為、地上4.3mの高さで安全ブロックを装着し、止まっている振れ止めに足をかけて作業を行っていたところ、杭打機オペレーターの誤作動で1.5m振れ止めが落下した。作業箇所から19m上で安全ブロックのワイヤーが何かに引っ掛かったのと、被災者が落ちた衝撃とで、安全ブロックのワイヤーが切れ、被災者は振れ止めの肩に尻もちをつく形になってしまい、臀部挫創してしまった。	27	143	1	1～ 9
2017	10	13～ 14	午前中より検査業務で作業を行っていた。午後、天井部のチェック項目にテープマークを貼る為、高さ約40cmの踏台に乗ったところ、立ちくらみを起こして転倒したもの。その後、作業を継続し帰宅、帰宅途中の電車内で気分が悪くなった。	25	921	1	1～ 9
2017	10	11～ 12	工場新築工事現場で酸素ボンベの移動を行っている時、地面が碎石だった為、転倒防止を行う為に酸素ボンベをまとめている最中に、ボンベが転倒し、ボンベとボンベの間に挟まれ怪我をした。	30	331	5	1～ 9
			10階朝礼会場の耐火被震吹付作業準備の為に朝礼台の移動を両名で				

2017	10	16～ 17	実施していた。600枠1段4スパンと600枠1段3スパンに、それぞれ取り付けしてあり、建枠の足元には、移動用のキャスターをかけていた。転倒防止の控えを外し、朝礼台を前に引き出そうとした際に、バランスが崩れ、朝礼台が前に倒れ、被災者は、コンクリート床との間に下半身が挟まれ、被災した。	53	391	5	10 ～ 29
2017	10	16～ 17	塗装工事現場に於いて、作業が終了し残ったペイント缶（一斗缶）をトラックの荷台に積み込む作業に従事中、手を滑らし持っていた一斗缶を足の上に落とした際に、左足の第4指・5指を骨折したものである。	45	611	4	1～ 9
2017	10	11～ 12	本人はリングシャッターの型枠建込作業において締固め材料（チェーン）を持って仮設通路上（鋼製足場板3枚敷）を歩行していたところ通路端部で滑り、左足を踏み外して約1.0m下の掘削法面部に転落し左膝を損傷した。	48	416	1	1～ 9
2017	10	8～9	搬入ヤードで、搬入車両（コンテナ車）荷台の上でOAフロア材を開梱している時、他の作業員からハンマーの置き場所を聞かれ教えようとして荷台（1300mm）から飛び降りたが、着地の際に右足を強打した。それにより、右脛骨腓骨を骨折してしまった。	36	221	3	1～ 9
2017	10	11～ 12	基礎ピット内にて型枠解体作業中に型枠解体スペース確保の為、枠組足場を押したところ、足場上に仮置きしていた仮設材が落下して、左手親指にあたり、怪我をした。	43	522	4	1～ 9
2017	10	14～ 15	被災者は、杭のコンクリート打設中、ミキサー車を誘導するため、3尺の立馬から降りようとした。後ろ向きに降りようとした時に1段目のステップ（高さ600）で足を滑らせて転落した。その際、地面の敷き鉄板に左肩を打ち付けて負傷したものの。	44	411	1	1～ 9
2017	10	10～ 11	6階にて壁パネルを7階へ荷上げ作業を行っていた。7階の作業員が持ち上げた際、端部の栈木にささくれがあり6階作業員の右手親指と人差し指の間に約1cmのささくれが刺さった。	23	522	8	10 ～ 29
			朝礼KY終了後2階から1階に下りる折り返しの所で2回目の材料を1階				

2017	10	8~9	へとりに行くときに少し足がもたつき、ネットにかけるハネ出の足場へほぼ骨を打ちほぼが切れ眼球から出血した。	68	411	3	1~ 9
2017	10	16~ 17	本社隣接の自社資材置場倉庫内において、資材の整理整頓を行っていた。横25cm×縦25cm×奥行35cmのガムテープの入った箱（約12kg~13kg）を高さ約2mの棚へ持ち上げ、つま先立って奥へ押し込もうとした時に左足アキレス腱を断裂した。	66	921	19	30 ~ 49
2017	10	15~ 16	解体工事を請け負い、2階のベランダからダンプに積み荷を紐で吊るし下ろしている際、紐が体に絡まり、高さ2メートルから落下。落下した際、腰を強打してしまい、その反動で上半身、首を捻ってしまい負傷。	63	418	1	1~ 9
2017	10	14~ 15	足場資材置場の片付け中パイプを持ちながらカゴを乗り越え移動しようとした際、カゴとカゴの隙間の溝に気づかず足を踏み外し、肘・膝・胸をカゴに強打した。作業を中止し損傷部を冷やし帰宅したが痛みが引かなかった。	25	911	1	10 ~ 29
2017	10	15~ 16	被災者は、3階にて同僚とファブデッキの仮敷き作業に従事していた。休憩を取るため、被災者が他の同僚よりも先に休憩所に向かった。小梁を渡っているところまでは、同僚2名は目撃していた。2名が目を離していた時に「アッ」という声を聞き、同僚2名で確認に行ったところ、被災者は1階の地面に倒れていた。（墜落時の現認者はいない。）	34	415	1	10 ~ 29
2017	10	10~ 11	上階より道具を降ろす為、梯子を使って道具を持って降りようとして転落し、背骨を骨折した。	44	371	1	1~ 9
2017	10	11~ 12	鉄骨造2階建て、児童福祉施設の建設工事現場で、2階梁の上に仮置きされた鉄骨胴縁材の仕分け作業中に、被災者が一番上に重ねられた胴縁材を手前にずらした際、材料が滑り落下した。滑り落ちた胴縁材に付いていた取り付け用アングルが、被災者の足首に引っ掛かり、バランスを崩した被災者自身も、1階床面（約3.3m下）へ背中	28	414	1	10 ~ 29

			から落下した。この時被災者は安全帯を使用していなかった。				
2017	10	9～10	基礎工事中現場で、生コン打ち込み作業中に、ポンプ車のホースから出ている生コンが、型枠に当たり、生コンが足に掛かった。	22	229	4	1～9
2017	10	8～9	被災者はデッキ受けの栈木取付作業の為、1階からピットへ昇降用梯子で降りる際、ピットまでの高さ約1.8mのところ足が滑りピット底版へ足をついた。両足で着地した後、尻をつき転倒被災した。	62	371	1	1～9
2017	10	8～9	場内の片付け時、被災者が建物内にある立ち馬を持ち建物外まで運ぼうとしたところ、段差につまずき、コンクリートの地中梁の上に転倒し、腰を強く打った。	36	417	2	10～29
2017	10	10～11	新築工事作業所内の北側外構工事で給水遠隔メーターの支柱を仮設置し、立ち上がった際に地盤状況が悪く、足を取られてよろけ、膝をついた。その際、U字溝（コンクリート製）の角に膝をぶつけてしまい被災した。	56	419	3	30～49
2017	10	18～19	道具の整理、作業車の清掃の作業中、道具の積み下ろしで力を入れた際に右肩に痛みが走った。	21	921	19	1～9
2017	10	17～18	4トントラックの荷台から資材（現場で使う資材でない）を手降ろし中に鉄製パイプ（長さ1.8m・太さ42.6mm・重さ4.8kg）を下で受け止め損ねたため、地面に落下して跳ね返ったパイプが右鎖骨辺りに当たって鎖骨を負傷した。その後、事務所に痛みを我慢しながら道具の整理、作業車の清掃の作業中、道具の積み下ろし中に右肩に強い痛みが走り右鎖骨を骨折した。	21	521	6	1～9
2017	10	9～10	造成現場にて、擁壁築道工事の作業中、高さ1.8m程度の足場上を移動している際、パイプサポートが斜めに足場板を貫通するために開いていた隙間（20cm×30cm程度）に右足を取られ、バランスを崩し、築道中の擁壁型枠、サポートの鉄パイプ等に右肩を強打し被災した。	31	411	3	30～49
			その他工事において、B棟の4階外部ステージへボードをタワーク				30

2017	10	15～ 16	レーンで荷揚げをして取り込む補助作業を行っていたがステージへ荷を降ろす際にボードを積み重ねた荷の側面とステージの足場支柱に左手中指の指先を挟み負傷したものである。	16	211	7	～ 49
2017	10	10～ 11	町営住宅改修工事にて、足場組み立て作業中に、南面足場の5層目の床の無い開口部から地面に落下した。	30	411	1	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	屋上にて鉄骨を裁いている際に、手元が滑って近くにあったH鋼に当たり、それがずれて後部より右足へ乗っかって来て負傷した。	60	521	5	1～ 9
2017	10	14～ 15	資材置き場において、4トンユニッククレーンを使用しその補助者としてブロックの整理整頓をしていたところ、吊っていたブロックがバランスを崩し大きく倒れ、そのはずみで後方に転んでしまい、足を打った。（工事の準備ではなく、資材置き場自体の整頓中）	29	212	2	10 ～ 29
2017	10	10～ 11	新築工事現場において山留工事に伴う機材搬入の際、トラック荷台の後方に置いていた工具箱を吊り上げて移動したときに、前方部に置いていたプラントに立て掛けていた敷鉄板（t9×3×6）2枚が玉掛け作業をしていた被災者の方へ倒れた。被災者は、敷鉄板と荷台の間に挟まれ右足側頭部を骨折した。	21	521	5	1～ 9
2017	10	17～ 18	機材センターにおいて、場内片付作業中、鉄筋異形棒鋼材を移動するため、被災者が玉掛を行い、巻上合図を送った荷が吊り上がった瞬間、吊り荷が被災者に対し右方向へ振れた。右方向には、可搬形発電機が置かれており、被災者が鋼材と発電機の接触を止めようと咄嗟に右手を差し出したが荷の振れを止める事ができず、右上腕部が鋼材と発電機の間で挟まれ骨折した。	42	521	7	1～ 9
2017	10	10～ 11	一般住宅の作業中、1Fの平らな場所で、古いシャッターサッシ枠の交換作業をしている時に、シャッター本体が外れにくく2人で作業をしていたが、片方だけ外れてその反動で自分が脚立から落ちて右足の踵を骨折した。	60	371	1	1～ 9
		11～	既存屋根（スレート小波）上で準備作業安全ネットを貼りに屋根上				1～

2017	10	12	に登って移動したときに、スレート屋根を踏み抜き墜落した。	29	415	9	9
2017	10	14～ 15	建設現場にて、基礎地中梁の解体作業中、4tユニックで材料（型枠約450kg）を引きあげ、ユニックの荷台に乗せる時に、吊り荷がゆれ、フックにロープをかけ終った本人（負傷者）に当たり、吊り荷と完成した基礎の間に挟まれ、負傷した。	61	212	7	1～ 9
2017	10	8～9	社屋新築工事現場にて、電気工事として弱電用引き込み工事のため足場上で作業した。それを終え、足場から降りる際、不注意により脚立で足を滑らせ、約3mの高さより落下した。	49	371	1	1～ 9
2017	10	13～ 14	2期新築工事現場において、分電盤の電線をカッターナイフで切断するため斜めに刃を入れ強く切った際、カッターナイフが滑り左手人差し指を切傷した。	23	364	8	1～ 9
2017	10	9～ 10	新築工事事業場において、EVピット鉄骨建て方のための荷降ろし作業中に、トラックより荷降ろしをした際、吊り荷のバランスが悪かった。玉掛け用のチェーン位置を修正した時に、着用していた軍手の先がチェーンクランプに挟まっていることに気づかず、そのまま荷を吊りあげたときにチェーンクランプと鉄骨資材の間に手が巻き込まれ左中指を挟み負傷した。	40	372	7	1～ 9
2017	10	16～ 17	当社資材置き場にて残材を整理片づけ中に、廃材の一部に残った釘を誤って踏み抜き、安全靴を貫通し、右足小指を刺傷した。	69	521	9	10 ～ 29
2017	10	11～ 12	作業所内PCマリオン用作業床から立馬に乗り移る際に立馬が転倒し、右手首を地面と体で挟むようにして転倒。PCマリオン用作業床から立馬へと飛び移るように乗り移った事が災害発生の原因と考えられる。	44	411	1	30 ～ 49
2017	10	16～ 17	型枠材（パネル）を倉庫から第二倉庫へ移動するために3tユニックに積み込みをし、荷崩れ防止用の帯を掛けている最中に、積み荷の材料（高さ≒4.0m）の上から転落し被災する。	44	221	1	1～ 9

2017	10	10～ 11	RC、SRC道16階建て耐震改修工事現場に於いて、トラッククレーンで解体材をワイヤーモッコで10tダンプに荷降ろしするため、10tダンプのタラップからコボレーン越しに荷台に飛び降りた。その際、足元のバランスを崩して転倒し、左足踵を強打した。	50	221	1	30 ～ 49
2017	10	17～ 18	自社工場内で鉄骨部材の整備中、仮置きされたH鋼の上を歩行移動中、足を滑べらせ転倒。H鋼とH鋼の間に転落し、右肩と右脇腹を強打し負傷。	49	521	1	1～ 9
2017	10	12～ 13	配筋及び型枠の基礎工事において、スリーブ施工中、ボイド管切断のためサンダーを使用していたところ、右手に持ったサンダーがはじかれた拍子に左手に当たり、中指第一関節より先と人差し指を開放骨折した。	22	159	8	1～ 9
2017	10	10～ 11	作業が完了したので自社の資材の片付け作業中単管（486φ）L=4.0mと単管L=1.0mがついたままの状態（自在クランプ）であったので、取り外す時、単管L=1.0mが回転し、別のクランプを持っていた右手親指に落ちて怪我をした。不安定な足場での解体作業を行っていたので事故を起こした原因と思われる。	46	521	7	10 ～ 29
2017	10	11～ 12	機械工場の土間スラブ配筋のため、鉄筋アンカー約600本を道具と足を使い手直しをしていたところ、腰に激痛が走りその痛みで足を滑らせ倒れた。	37	521	19	1～ 9
2017	10	9～ 10	非常発電機室のアルミテック敷設工事においてラックの高さを出すため、非常用発電機上部に3脚式レーザーを設置する前の作業時、脚立の3段目で足を滑らせバランスを崩し転落し両手をついた際に怪我をした。	47	371	1	10 ～ 29
2017	10	12～ 13	1F電気室土間コンクリート及び立ち上りコンクリートを打設中、立ち上り天を鋺で均し中、腰壁型枠固定用栈木に足元が引っ掛かり土間差筋（差筋養生用キャップ）に左側喉元に接触し左首元を負傷。	54	521	8	30 ～ 49
			現場、南側通路上でトレーラーの荷台よりトラスコマ材を荷降ろし中にトラスコマ材をクレーン（25tR）で吊っていた。トレーラー荷				

2017	10	11～ 12	台の鳥居（プロテクター）上部に被災者は立っていた。玉掛したトラスコマ材が荷ぶれし、隣に載っていたトラスコマ材に当たり転倒して右足親指の付け根がトラスコマ材とトレーラー荷台の鳥居（プロテクター）上部に挟まれた。	40	212	6	10 ～ 29
2017	10	1～2	2階改築工事の現場にて資材（銅線）搬入時、内部の塗装工事をしていたため、1階の玄関屋根から2階部屋の窓へ資材を搬入した。1階玄関屋根にビニールが敷かれていたため、足を滑らせその際、ジャンプして着地しようとしたが左足に体重がかかり踵を負傷した。	47	415	1	1～ 9
2017	10	14～ 15	高さ約2.5メートル付近で重機のリーダー部分の解体作業中にパイプレンチでボルトナットを取り外している際、勢いあまって転落し、右手首を骨折した。	36	143	1	1～ 9
2017	11	14～ 15	本社事務所敷地にて、書庫増築に伴う基礎杭打ち込み作業中（丸太木杭）、ヘルメットの顎紐の装着を怠ったことと、周囲の安全確認不足で、木杭打ち込みの際、雪や地盤の影響で杭が滑り倒れ、被災者の頭部に接触した。	63	522	5	1～ 9
2017	11	11～ 12	資材整理作業のため25tラフタークレーンを使用し、キーストンパネルを移動する際、吊荷が滑り落ち、被災者の左半身に激突し、はね飛ばされて倒れ込んだ。	24	372	4	1～ 9
2017	11	17～ 18	現場の作業を終了し、同僚が運転する車に同乗し、工務店へ戻る途中の緩やかな右カーブを走行中、路面凍結によりスリップしセンターラインを越えて走行してしまい、対向車線を走行して来た車両に衝突した。	23	221	17	1～ 9
2017	11	17～ 18	作業を終了し、同僚を同乗させ、工務店へ戻る途中の緩やかな右カーブを走行中、路面凍結により、スリップしセンターラインを越えて衝突した。	57	221	17	1～ 9
2017	11	16～	当日、当事業所資材置き場内にて、システム部材（長さ1800mm素材鉄）の手摺りを手運び中、振り向いた際に、近くに積んであった支	21	521	3	10 ～

		17	柱（長さ3600mm素材鉄）の束に利き手である左手をぶつけ被災した次第である。				29
2017	11	11～ 12	派遣労働会員の被災者が、市役所のゴミ置き場内で転倒した際、尻もちをつき、左手首が身体の下になり、重みがかかった為、左手首のくるぶしを骨折した。	43	169	19	1～ 9
2017	11	9～ 10	会社の中の階段で、1階に下りる際に足を踏み外して落ちた。	38	612	5	1～ 9
2017	11	11～ 12	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本=45m、重量900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きで、4輪とも回転するタイプであった。	46	411	9	1～ 9
2017	11	13～ 14	営業打ち合せの為、車で移動中、車がスタックした為、ギアをニュートラルにして車外に出て車を押したところ、車が緩やかな土手を滑り落ちてしまい、止めようとしてドアに挟まれたまま滑り落ちた為、胸を強打し負傷したものである。	57	417	2	1～ 9
2017	11	8～9	第1工場生産部単発エリアのレイアウト変更中で、当日は増肉パイプ1号ラインの150トンプレス機などを移動していた。工場の高さ4.55m付近の壁の横梁（H鋼）上に通している設備用電源配線をアルミ製の脚立を長さ4.1mに伸ばして、3.2m付近まで登って高所作業中に落下した。脚立の脚と滑り止めゴムキャップは付いていなかった。補助員を付けていなかった。落下原因は本人の記憶がなく、目撃者もいないため不明である。	67	521	4	1～ 9
2017	11	9～ 10	材料を曲げ金型を使用して加工中に、通常は加工後に下型上に残るものが、上型に張り付いてしまい材料を叩いて取ろうとした際に材料が外れ落下し、右手薬指を金型と材料との間に挟んでしまい負傷した。	49	521	7	10 ～ 29
			支店工場内で、製品（メーターボックス800×2100）の上について				

2017	11	15～ 16	いる符号確認作業の為脚立を登っていた際、90cm程の高さで足を踏み外し、足から落ちて左足踵を骨折負傷した。	54	418	4	1～ 9
2017	11	13～ 14	建物入口付近にて、浄化槽据付の掘削作業時に、床付の仕上げ時、隣接する山留め（H鋼＋コンクリート製平板）及び周囲に土留めの処理を先行工法から、掘削終了時の建込みを変更していた為、隣接する山留めが崩落し、コンクリート製平板が当たり、左第7肋骨を骨折した。	67	711	5	1～ 9
2017	11	10～ 11	被災者は、地下5階南工区で梁のフープ筋を1人で種分け作業をしていた。その真上（高さ約3m）の鉄骨梁上で別の鉄筋工2名が梁配筋作業をしており、持っていた宙吊り主筋（D32長さ7.5m重さ約46.7kg）を吊り金物フックに乗せて、鉄筋を結束しようと手を離れた時鉄筋を落とした。その時に、下にいた被災者の頭（ヘルメット着用）に当たり被災した。	77	521	4	1～ 9
2017	11	10～ 11	11階床の上で、6尺の脚立の3段目に上がり、柱に梁底を乗せて、エアードリルで止める時に、左手でラジエットを持ってベニヤの面を合わせて、右手でガンを持って、釘を止める時に、柱の枠に右肘が当たり、その反動で滑り、左手首にガンが当たり、引き金を引いた。	45	139	8	1～ 9
2017	11	17～ 18	5階から屋上に上がる階段部分の壁型枠建込作業にて、脚立から降りる際にバランスを崩し、足元のベニヤが階段のため斜めになっていたため足を滑らせ、右足首を受傷した。	48	371	1	—
2017	11	14～ 15	被災者は、営業で訪問先へ向かう際、訪問先が地下だった為、1階から地下へ下りる階段（12段程）を降りている途中で7段目の所で足を滑らせてしまい下まで転落した。	57	413	1	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	地上外部の鉄骨ヤードで、1人で鉄骨馬を移動させようと、鉄骨馬を傾けたときに躓いて、左足甲に鉄骨馬が倒れ被災した。	26	419	2	1～ 9
2017	11	8～9	解体工事足場養生をしていて足場を降りた際、地面に釘があり踏ん	54	521	9	1～

			でしまった。				9
2017	11	15～ 16	足場近接部にて生コン打設中に少しでも近道をしようとして、1m程度離れている足場同士を渡る際に足場間のスペースを落下し、その際に右側の胸・腕・顔を足場の構成板に打ちつけ打撲及び肋骨を骨折した。	58	411	1	1～ 9
2017	11	11～ 12	被災者は外掘棟B2F基礎建込み作業に従事していた。地上からの昇降階段で耐圧版上に降り、別の昇降階段からB2F床上へ昇ろうとしたところ、右足を捻った状態でコンクリート床面に着地し被災した。整形外科に向かったが、専門医が不在の為、整形外科にて救急車を要請し、別の医療機関へ救急車にて搬送した。診察、レントゲンの結果、「右大腿骨骨折」、入院の為、搬送された。	21	413	1	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	同僚2名とRFスラブ上にて、外壁胴縁部材を北側外壁面に吊り下げる作業を担当していた。屋上のソーラー鉄骨上に仮置きしていた胴縁を3メートル程度横移動しようとして、同僚の一人と声を合わせ部材を被災者が引っ張り、相番者が押したところ、勢い余って、被災者が持っていた100角とソーラー鉄骨（溝形鋼背面）の間に、小指を挟んで負傷した。	29	521	7	100 ～ 299
2017	11	16～ 17	駅前リノベーション計画分譲マンションA棟新築工事で、スラブ張り作業をしていたところ、スラブの精度を求める為地中梁鉄筋から2m単管パイプでスラブの小口を合わせようとしていた。鉄筋からパイプが外れて勢いの余り転倒して、右手首を負傷した。	43	379	2	—
2017	11	15～ 16	柱状改良中の現場にて、プラントミキサー清掃作業中に、誤ってハンマーをプラント内に落としてしまい、慌てていた為、プラントの電源を落とさないままハンマーを拾う為にプラント内に手を入れてしまい、スクリューに右手薬指とハンマーが挟まり骨折してしまった。	29	162	7	1～ 9
		16～	外部足場組立において、手渡しによる足場材荷上げの作業を行っており、被災者は6段目で中継ぎ作業をしていた。荷上げの為、作業				1～

2017	11	17	場所の足場板2枚敷きのうち、1枚を外し作業をしていた最中にバランスを崩し転落した。	26	411	1	9
2017	11	15～ 16	建物3階スラブ上で、返し型枠の段取りの為、型枠材を両手で運んでいる時に、スラブ鉄筋上にメッシュロードが敷き込まれていない状況下であった。スラブ鉄筋上を歩行中に、スラブ鉄筋に躓き転倒し、腰をコンクリート床に強打した。	70	416	2	1～ 9
2017	11	17～ 18	作業所前に積んであった外壁材を移動させようとした時に、小雨が降って濡れていたため手が滑って外壁材が落下して、右足の親指に当たってしまった。	27	529	4	1～ 9
2017	11	9～ 10	建設現場において枠組足場1段目（高さ20m）に立ち、梁にドリフトピンを打ち込む作業をしていた際足を滑らせ、尻を足場板にぶつけ、基礎コンクリート部から鉄筋が突き出している場所に転落し、太ももに鉄筋が刺さり受傷した。作業中、安全帯を腰に付けていたが、使用していなかった。	66	411	1	1～ 9
2017	11	8～9	コンクリート打設作業中に次の場所へ移動しようとして地中梁配筋の上を歩いていたら、バランスを崩して約1800mm下の捨てコンクリート上に飛び降りて、右足踵を骨折した。	59	418	1	30 ～ 49
2017	11	11～ 12	2階トイレの配管の為墨出し、床あげ作業をする際、3～4kg程度の道具袋を肩に掛け、片手で梯子を掴みながら3段目に足が来たところ道具袋の重みでバランスを崩し、転落してしまった。左足踵で全重量を支えた為、骨折した。	66	371	1	1～ 9
2017	11	11～ 12	2Fベランダの防水加工工事中、左足を前に右足の片膝をついた体勢でサンダーを使い床を研磨していた為、エアコンの架台にあたって跳ね返った刃が左足首と膝の間にあたり裂傷した。	34	153	8	1～ 9
2017	11	10～ 11	RC造5階建の事務所ビル建設工事現場の5階部分で脚立足場上で型枠解体作業中、バランスを崩して足場から約1.5m下の床面に転落し、右足かかとを骨折した。	36	411	1	10 ～ 29

2017	11	16~ 17	事務所東側外階段で、シュレッダーしたゴミの袋（45L）を事務所の外の収集場所へ運ぶため、両手でゴミ袋を持ち2階から1階へ階段を下りる際、ゴミ袋によって足元が見えづらく、階段の下から3段目を踏み外してコンクリートの地面へ落ちて、両足首を負傷した。	35	413	1	—
2017	11	13~ 14	土場作業場にて、事業主の指示の下、コンクリートポンプ車の荷台（高さ2m）に乗りブームのグリスアップをしていた際、足を滑らせてしまい落下した。足がもつれ、受け身が取れず地面に落下したため、腰を強打し負傷した。	24	221	1	1~ 9
2017	11	11~ 12	個人宅新築工事の地鎮祭に向かう最中に、現場付近の十字路にて一時停止をしたが、発進後右から来た車にぶつけられた。（運転席側の後輪付近）その際に全身打撲とむち打ちにて入院となった。	38	231	17	~ 49
2017	11	15~ 16	作業所内で午後から通常させていない作業で被災者が型枠をサンダーで切断している時、サンダーがはね返り、刃（ノコギリ刃）が被災者の左足膝上の太腿部あたりに接触し受傷した。	29	131	8	10 ~ 29
2017	11	16~ 17	工場改築工事現場において、屋根タイトフレーム作業終了後、足場板を撤去中バランスを崩して梁から転落し頭部を強打する。	45	415	1	1~ 9
2017	11	10~ 11	当社倉庫で、片付け（整理）をしている際、足場材を持って、降ろす時に膝を曲げずに降ろした為、肉離れをおこす。左足太腿の裏側がつってしまった。	55	921	19	1~ 9
2017	11	9~ 10	かやぶき屋根のかぶせのトタンの鼻先を取り替える為に、下屋の瓦屋根の上で作業をしていて、滑らない様瓦の上に2m角位のシートを貼ったが、そのシートの上に乗った時、滑って地面に落ちた。右足の太ももの所の骨を骨折した。	66	415	1	1~ 9
2017	11	15~ 16	建設工事現場にて、建物の玄関上の庇のケレンをしようと2階の窓越しに庇の上に降りようとして、途中に突起している約1200mm下のボーダーに足をかけ、その下の庇まで約600mmを降りようとした際、足を踏み外して、庇の正面越しに落下し、負傷した。	23	418	1	10 ~ 29

2017	11	16~ 17	天井スラブに埋まって外れない木目地棒を、4尺脚立の2段目に跨いで乗り電気チップperで除去作業中、除去する目地棒の位置が変わっても脚立の位置を変えずに不安定な体勢で作業を継続した為、バランスを崩して電気チップperを右手に持ったまま転倒し、右肘を床コンクリートに強打した。	51	371	1	1~ 9
2017	11	9~ 10	新築工事現場にて作業中に負傷する。約15kgの木枠パネルを、業務用エレベーターで3階から4階に上げた際に、4階の作業員がパネルを持ち上げようとしたが、何かに手が引っ掛かり、パネルが手を離れそのまま3階に落下した。その際に、3階にいた被災労働者の左母指に当たり負傷する。	70	522	4	1~ 9
2017	11	16~ 17	塗装作業中、足場の上から足を滑らせてして落下した。その後、左手首に全体重がかかり骨折した。	21	411	1	1~ 9
2017	11	15~ 16	水道工事を行っていた。埋戻し作業時にダンプから碎石を荷卸した後に、ユンボにて碎石を押そうとバックしたところ、ユンボの後に作業員が立っていたところ接触した。	41	142	6	1~ 9
2017	11	11~ 12	平坦な場所になっており掘削作業を行っている時に、重機が旋回しようとして旋回時に周辺を通ろうとして重機のバケツが腰部付近に当たり転倒した。すぐに本人に確認をしたが大丈夫だと申告してきたので当日はそのまま作業について終了したが、翌日痛いとのことで本人が病院に行った。	48	142	6	—
2017	11	12~ 13	社内階段を1階から2階へ上がる時に、足が躓き転倒した。その際に胸を強打した。	24	413	2	1~ 9
2017	11	10~ 11	消防団分団立て替え工事西側フラットパネル下にて、杭養生の単管建地設置の為、幅1m程度、高さ2.7m程度の泥コンクリートの上を移動していた。この時根ガラミの跨ぎにくい所を控えの外側から移動しようとした時に、次に使用する為に仮置きしていた単管を固定している部材と誤認して掴み、姿勢を崩して腰から落下し、腰上背骨に全治28日の圧迫骨折という怪我を負う災害が発生した。	50	417	1	10 ~ 29

2017	11	12～ 13	鉄骨2階建解体工事中、屋上スラブに乗った瞬間にスラブが崩落し、落下、肋骨を骨折した。	69	418	1	1～ 9
2017	11	12～ 13	鉄骨2階建解体工事中、屋上スラブに乗った瞬間にスラブが崩落し、落下、左肘を骨折した。	59	418	1	1～ 9
2017	11	15～ 16	荷取りステージ上にプラスターボード3×6、40枚をクレーンにて吊り上げ、台車に直接おろし、スロープを使用し搬入の際、被災者Aがボードとサッシ開口部に右手を挟み被災した。	43	362	7	1～ 9
2017	11	17～ 18	個人宅新築工事の現場で、片付けた荷物を、トラックの荷台に積み込み、ロープで固定する作業中、ロープを強く引っ張ったところ、ロープが切れ反動で、後方に尻もちをついた時、とっさに右手をつき、手首を負傷した。	57	379	3	1～ 9
2017	11	14～ 15	工事現場にて階段中央の壁を組むために道板を、足場に脚立を使用し、十字に組み作業していた。作業が終わり上から道板を除けようとした際に、中央壁の型枠敷ばたに片足を置きコンクリートの手摺り壁にもう片足を置こうとしたところ、踏み外し1.5m程の高さから転落した。	47	411	1	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	倉庫建築現場で鉄骨骨組みの取り付けのため、鉄骨の梁に梯子をかけてボルトを締めていて、梯子ごと横に倒れて両足の踵を負傷した。	69	371	1	1～ 9
2017	11	10～ 11	鉄筋を加工している時に加工する機械に右手の中指を挟んだ。右手中指の先端が切れ骨折した。	20	159	7	1～ 9
2017	11	16～ 17	現場で間柱（H100×100×3m、約50kg）1本を取り付け作業をするため、軽トラの荷台から2人で下ろしていた。小雨が降り出したのもあり、半分くらい引っ張り下ろしたところでH鋼が斜めに滑り出し、右足に落ちた。安全靴は履いていたが、右足の指を負傷した。	44	611	7	10 ～ 29
			当社資材センターにて被災した、被災者は、現場から持ち帰った足場用鉄製の支柱（直径5cmの筒状パイプ、長さ4m、重さ約13kg）54				10

2017	11	18～ 19	本の束を資材置場に整理する作業中、支柱を束ねていた番線をほどいたところ、重なった支柱全体を支えるのを忘れ、積み重なった支柱がバランスを崩して被災者の左足に落ち、足首を負傷した。（作業服、安全足袋（つま先保護）着用）	26	611	5	～ 29
2017	11	14～ 15	屋根瓦棧を撤去作業中に移動しようとした時、足を滑らせ足場鋼管の手摺り部分に額が当たり、約3m下の畑に落下負傷した。	61	415	1	1～ 9
2017	11	13～ 14	牛舎の鉄鋼建築で屋根張り作業中、上段から下段まで雨が降って濡れていたため滑りバランスを崩して（2m位）そこから地面（2m位）の所まで落下し、地面も滑り易くなっていたため足の踵をつきそのまま滑り、右足の踵付近を損傷し立位保持が困難となった。	33	415	1	1～ 9
2017	11	11～ 12	外部足場解体初日、建物北面にて上層部より足場を解体し、下段各段に配置した作業員に手渡しし、1階まで荷降ろしをしていた。11段目の布板を取り外し、下層に荷降ろしをしている際、8段目の作業員が7段目の作業員に渡しそびれて布板が落下した。6段目にいた作業員の首に当たった後、方向を変えて1階まで落下し、荷捌き作業をしていた被災者の頭に当たった。吹き抜け部には落下養生棚を設け、開口真上での荷降ろしは避けていたが、方向の変わった布板が、開口部に落下した。	37	411	4	10 ～ 29
2017	11	16～ 17	新築工事現場において、被災者が、高さ約2m上の足場にて階段壁の鉄筋組作業中、足場の板がずれ階段上に転落し、左膝、左腰部、左肘を強打し打撲を負った。（当初は、大したことはないと思い、受診しなかったが痛みが増し受診した。）	48	411	1	1～ 9
2017	11	3～4	1階柵足場組立作業において、当日の作業が終了し、作業終了後の片付けの確認及び翌日の仕事で使用する防災シートを右手に抱え、階段を上った。上りきったところで躓き前方に転倒しジョイントピンに右目を打った。（原因）1.ジョイントピンの放置。2.夜間工事で足元が暗かった。3.右手で防災シートを抱えていた。4.作業が終わり、気の緩みがあった。	38	417	2	1～ 9

2017	12	11~12	被災者はエレベータシャフト内でエレベータ用間柱鉄骨の後付け作業を実施していた。揚重用チルホールとワイヤーを使用して間柱鉄骨を最上階（7F）まで揚重したが吊り代が少なくなり、間柱鉄骨の向きを変えられなくなった。レバーブロックを吊元のイーグルクランプに設置して、間柱鉄骨の向きを調整し、再度チルホールの巻き上げ作業を行ったところ、イーグルクランプが外れ、間柱鉄骨を吊り上げていたワイヤーと単管パイプの間に左手を挟まれた。	26	361	7	1~ 9
2017	12	17~18	被災者は、当作業所内8階および26階の冷媒配管工事の作業員として入場していた（当作業所がメインの勤務場だが、他の作業所での勤務もあった）。被災者は、約2週間、工事用エレベーターを利用せず、8階から26階（階高4m、18フロア分）間の作業工具（30kg程度）の上げ降ろしを人力で数回に亘り行った。また、手工具（10~20kg）についても上げ降ろしを数回人力にて行った。	32	364	19	1~ 9
2017	12	11~12	被災者は、浄化槽のマンホール周囲モルタル塗り作業をするため、作業場所で打ち合わせをし、作業を開始した。作業完了後、作業場所から12m程度離れた2段足場の近くで携帯にて電話をしている時、突風にて西側コーナーから足場が倒壊している状況が視界に入り、逃げようとしたが間に合わず、倒壊する足場に当たって転倒し、負傷した。	60	411	5	10 ~ 29
2017	12	15~16	鉄骨造2階建ての工場建設工事現場で、鉄骨鳶が鉄骨建方中、水平ネットを手繰り寄せている作業中、2階鉄骨梁上から転落し、頸椎・胸椎を打ち骨折した。	34	415	1	10 ~ 29
2017	12	14~15	解体現場にて建物の壁を解体作業中、壁上部の一部が重みにより落下し、壁の下部を手作業で解体していた為、右上腕部を落下物で挟まれ負傷したものである。	27	418	4	10 ~ 29
2017	12	11~12	工場③棟耐震補強工事の現場において、基礎工事の穴の埋め戻し作業中、穴とバリケードの間のスペースを歩いていたところ、足元の土砂が滑り、そのまま2.5mの深さの穴の中へ転落した。転落した	74	711	1	10 ~

			時、玉石に左膝をぶつけてしまった。				29
2017	12	9~10	2階廊下アスロック上にて、外壁調整上部補佐作業に於いて（下に1名の計2名）、外壁パネル上部を調整中、横に移動した際に、被災箇所（足場板2枚仮置・開口部水平ネットなし）足場板2枚仮置きの間より、1階廊下土間上に転落した。	77	414	1	1~9
2017	12	15~16	重機を降りる際、キャタピラーから足を滑らせ手をついたところ骨折した。	46	921	19	1~9
2017	12	9~10	350tクローラクレーンのラフィングジブ組立作業が開始され、親ブームを地面に寝かせ、その先にジブを地面に寝かせて親ブームと接続後、接続部分（リヤストラット・フロントストラット）の調整作業を行っていた。被災者はストラットバックストップに固定ピンを入れようと親ブーム上で待機していた。そのリヤストラット角度調整のため、ジブ起伏ワイヤーを巻いていたが、巻き過ぎたためジブに固定してあったナイロンスリング（フロントストラットが起き上がらないよう2本使用しジブに巻きつけて固定していた）が、破断してブーム全体が振動した。その際、とっさの安全行動でストラットバックストップに手を掛けたが、そのストラットバックストップが振動で縮んでしまい、左手中指と薬指が伸縮部分のフランジに挟まれた。	47	212	7	1~9
2017	12	8~9	9F立ち上り、10Fスラブコンクリート打設前段取りで、10Fスラブから9Fスラブに配管を下げる作業中、9Fスラブ足場上で3m配管を取り付けようとしたところ、9F部分に異変を感じ、直そうとして声をかけたが、上階の作業員がそのまま配管を支えきれず、下にいた作業員の手の指に落ちてしまった。	34	391	4	—
2017	12	15~16	現場4Fで型枠組立作業中、型枠材に穴を開けようと墨壺を使用していた際、墨壺の先端（カルコ部）の差しが甘く、先端部が抜け、その反動により抜けた先端部が左目に刺さり負傷した。	66	379	4	1~9

2017	12	10~11	鉄筋5階建新築工事で、5階型枠解体中、5階床から4階に通じる吹き抜けスラブ面より2.4m下の4階のスラブ面に足を踏み外して、左側肩より落下し、左側鎖骨及び肋骨6本を骨折した。（本人は事故前後の記憶がないと証言している。）	68	414	1	1~9
2017	12	10~11	浴室で入浴介助中、利用者の体を浴室から浴槽へ移動する際、利用者のわきの下に自分の両腕を回し持ち上げて、利用者のでん部を浴槽のへりにのせて浴槽に体を浸け、浴槽からわきの下に両腕を入れて持ち上げ、へりにでん部をのせて浴室に体を移動する際に右下腿部、右大腿部を挫傷した。	52	921	19	1~9
2017	12	14~15	改札周りの金属パネル下地（C - 100×50×2.3≒4.1KL=1.07m）を取り付ける為に高所作業車を操作者が上昇させていたが、取り付け高さに至る前に部材の上部が取り付け箇所付近のスラブに当たった為、部材を持っていた被災者の左手人差し指が部材と手摺りに挟まれて受傷した。	58	146	7	10~29
2017	12	7~8	朝、現場についたあと、道具（バール、インパクト）を両手に持ち現場ゲートから入場スロープ上の鉄板上に少し雪があったため足を滑らせ転倒して、敷鉄板上に腰から落ちて腰を負傷した。	65	417	2	1~9
2017	12	8~9	硝子材搬入時、作業通路を確保するために、一階部屋の資材を片付けていたところ、開口部養生用のコンクリート蓋を避けようとして、バランスを崩し転倒した。その際、右足の2カ所を骨折し、被災した。	51	417	2	10~29
2017	12	9~10	自社工場の前にて、トラックの荷台より降りるときに変な足のつき方をしたため、捻って左膝を負傷した。	51	417	3	1~9
2017	12	14~15	新築工事にて、梁下端につけた耐力壁の下地が割れ、交換のため6尺の脚立にのり、釘を抜いていた。その際、バールが釘から外れ、体勢を崩し後ろに転倒した。左手をついたが受け止めきれず、そのまま左手首を骨折した。	23	371	1	10~29
			2tトラックの荷台に積んであった軽量材（L5.0m）を、被災者が荷				

2017	12	11~12	台に乗り、1人で手作業にて荷下ろしをしていた際、体勢を崩して荷台から地面に墜落し、同時に荷台の軽量材3束が被災者側に落下して被災者に当たり、左方と左胸部を負傷した（左鎖骨・左肋骨骨折）。	43	521	4	1~ 9
2017	12	16~17	会社営業所内の作業場にて、長尺鉄筋を切断する作業中、中腰での作業であったため、腰痛を発症した。	20	921	19	1~ 9
2017	12	8~9	スタンド建設工事、現場内外部足場西面にて、足場3層目（立入禁止範囲）で鉄骨材料の荷揚作業を行っており、作業が終わり、移動しようとして後退した。後ろに下がった部分の足場板が外されたままの状態になっており、そこで足を踏み外し、2層目の足場へ転落し、上半身を打った。	61	411	1	1~ 9
2017	12	9~10	新築工事現場において、外構工事作業を行っている作業員へ指示をするため、被害者が砕石敷きの通路を歩いていた際に、微妙な段差があり、左足をとられて捻り、骨折した。なお、転倒はしていない。	49	417	19	1~ 9
2017	12	8~9	外壁改修工事に使用する足場資材を、資材置き場にて積み込み作業中、棚の上の資材を取り出すとき、脚立から後ろに落ちて右手を下につき、負傷した。	42	371	1	1~ 9
2017	12	11~12	足場解体に伴い、朝顔の万能板（FRP製）をロープにて荷下ろしする際、下部で荷受け作業をしていた。被災者が、荷受けレベルで空中停止した荷を受けようと手を出したところ、上部作業員（ロープ操作）が、荷が完全に受け取られたと思い込み、ロープを緩めたが受け取られておらず、勢いで建地単管に取り付いていた枠網固定用クランプと荷で左手中指が挟まれ、負傷した。	17	611	7	10 ~ 29
2017	12	14~15	事務所棟1階の用務員室にて、内部造作物撤去作業中、被災者が脚立から降りようとしたところ、誤って足を踏み外し、バランスを崩して2段目から転落し、脚立に足をからめて負傷した。	35	371	2	10 ~ 29

2017	12	9~10	<p>受傷者は、9階外壁の超高圧洗浄を行っていた。現場に設置された落下養生ネットが一部邪魔になったので、洗浄水を出したまま片手でネットをたぐったところ、洗浄水が右手中指第1関節より1.5cm程上に当たり、指を切った。</p>	30	911	6	10 ~ 29
2017	12	13~14	<p>2階廊下にて、非常照明を交換する際に、4尺の脚立の3段目から降りようとしたとき、右足を滑らせ脚立から転落し、左肘を脱臼した。</p>	34	371	1	1~ 9
2017	12	11~12	<p>業務中、客先事務所から出る際に、事務所建物2階から1階へ階段を下りているときに、あと5段程度の所から転落し、右足を骨折した。持病で左足に不自由があるため、平素より松葉杖を使用して歩行していた。松葉杖が階段でつかえ、前のめりになり、バランスを崩して転落した。</p>	46	418	1	30 ~ 49
2017	12	14~15	<p>資材館外部に設置してある樋の下部をベビーサンダーで切断しているとき、自分のヤッケ（上着）にベビーサンダーがからまり、慌てたときに左前腕を負傷した。</p>	63	169	7	30 ~ 49
2017	12	17~18	<p>鉄工所において、鉄パイプの内側をサンダー掛けする際、持ち手を変えるときに内側の壁に当たり、はね返ったときに右手親指を負傷した。</p>	64	153	8	1~ 9
2017	12	9~10	<p>2階特殊浴室壁のブロック積み作業中に、頭上の配管に頭をぶつけた拍子に、高さ1.8mの脚立の足場から転落した。</p>	57	411	1	1~ 9
2017	12	9~10	<p>1F床上で、アルミサッシを取り付けるための下地木材を、エアードリル機にて留め付ける作業をしていた際、ロール釘を結んでいるワイヤーが、釘を打った際に目の中に飛散した。</p>	55	169	4	10 ~ 29
2017	12	14~15	<p>ガソリンスタンド建設中の建築現場で、鋼管杭打ち作業中、杭打ち後に高止まりし、地上に出ていた杭を切断後、吊り上げて横倒しするためにワイヤーを掛ける作業をしているときに、切断して自立していた杭が、完全に縁が切れていたため、鋼管杭が傾き、玉掛け作業をしていた被災者の方に倒れてきて、被災者が杭の下敷きになった。</p>	48	521	5	1~ 9

2017	12	16~17	舗装工事中、養生用のプラスチックベニヤ板が風で道路に飛んだため、慌てて拾いに行き拾い上げたが、右足でその板を踏んだまま拾い上げてしまい、滑って転倒し、アスファルト路面に左膝を打ちつけた。	46	522	2	10 ~ 29
2017	12	16~17	鉄筋コンクリート造4階建て建築工事現場で、現場入口に置いてあるサポート4本を左肩に担いだ状態で、1階現場の建物入口まで運ぶため車をよけて歩行していたとき、現場入口付近で、左肩が急に脱臼した。	25	921	19	1~ 9
2017	12	14~15	作業場において、新築工事のための加工した木材（10.5cm×10.5cm×4cm）を移動し積み上げる作業中、手元のバランスを崩し、木材に挟まり右手薬指を負傷した。	54	522	7	10 ~ 29
2017	12	15~16	工場敷地内にて錆止め作業中に、H鋼（1m位）の向きを変更しようとした際、片側にいた人が、金物が邪魔なため、少し押したときにH鋼がずれて、本人が持っていた方が台に落ち、鉄鋼と台の間に挟まり、裂傷・骨折を負った。	24	521	7	10 ~ 29
2017	12	9~10	会社敷地内において、樹木の撤去作業前にチェーンソーの点検作業中、誤ってチェーンソーを左膝に当ててしまい負傷した。	45	136	4	10 ~ 29
2017	12	8~9	外部足場上で、2階部分の建物外壁タイル張り作業の準備中、足場と壁面の間隔が広がったと思われ、自分でブラケットを取り付け（3ヶ所）、その上に道板を通し、固定せずに道板に乗ったところ、端部のブラケットに道板が掛かっておらず、移動したときに不安定になり、道板と共に腰から落下し、腰椎を破裂骨折した（安全帯未使用）。	63	416	1	1~ 9
2017	12	8~9	店舗新築工事現場内で、外部足場の養生作業をするためシートを運んでいるとき、約4mの高さの足場開口部（筋交いのない作業床）から転落して被災した。	30	411	1	10 ~ 29

2017	12	11~12	<p>改築工事の現場において、室内で鋼製棚の分解中、下で作業していたところ、上で作業していた人が誤ってインパクトを落とし、右足の中指に直撃し負傷した。当日痛みはあったが夕方まで作業し、会社に帰ってから靴下を脱いだところ、腫れが酷かった。右足中指第1・第2関節骨折で全治2週間となった。</p>	59	364	4	1~9
------	----	-------	--	----	-----	---	-----

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html